

2011年度 (社) 尾道青年会議所

第9回 理事会



日時：2011年 9月 6日(火) 19:00～

場所：尾道国際ホテル

第9回 理事会

資 料 一 覧

[議 事 次 第]

1. 第9回 理事会

[理事長報告]

[資 料]

1. 魅力あるまちづくりへの調査・研究・実践 事業報告（案）	1－1～	2
2. 尾道の伝統文化継承の調査・研究・実践 事業報告（案）	2－1～	2
3. 海フェスタへの支援 企画・参画 補正予算（案）	3－1～	3
4. 海フェスタへの支援 企画・参画 事業報告（案）決算（案）	4－1～	3
5. 仮入会研修 事業計画（案）予算（案）	5－1～	6
6. 9月例会 事業計画（案）予算（案）	6－1～	7
7. 親の教育力向上事業の調査・研究・実践 事業計画（案）	7－1～	8
8. 10月例会 事業計画（案）予算（案）	8－1～	6
9. 地域経済発展をねらった「尾道プライド」育成の調査・研究・実践 事業計画（案）	9－1～	17
10. 尾道の持つ遊休資源を利用したまちづくり事業 事業計画（案）予算（案）	10－1～	10

2011年度（社）尾道青年会議所

第9回 理事会

日時：2011年9月6日（火）19:00～

場所：尾道国際ホテル

次 第

1. 開 会
2. 点 鐘
3. JCI クリード唱和
4. JC 宣言朗読並びに綱領唱和
5. 出席者の確認
6. 配布資料の確認
7. 前回議事録の承認
8. 議事録作成者並びに議事録署名人の指名
9. 議題の確認
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 理事長報告
13. 委員会報告
14. 審議事項
 - 第 1号議案 魅力あるまちづくりへの調査・研究・実践 事業報告（案）に関する件
 - 第 2号議案 尾道の伝統文化継承の調査・研究・実践 事業報告（案）に関する件
 - 第 3号議案 海フェスタへの支援 企画・参画 補正予算（案）に関する件
 - 第 4号議案 海フェスタへの支援 企画・参画 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 5号議案 仮入会研修 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 6号議案 9月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 7号議案 親の教育力向上事業の調査・研究・実践 事業計画（案）に関する件
 - 第 8号議案 その他
15. 協議事項
 - 第 1号議案 10月例会 事業計画（案）予算（案）について
 - 第 2号議案 地域経済発展をねらった「尾道プライド」育成の調査・研究・実践
事業計画（案）について
 - 第 3号議案 尾道の持つ遊休資源を利用したまちづくり事業 事業計画（案）予算（案）について
 - 第 4号議案 その他
15. 報告依頼事項
16. 連絡事項
17. 監事講評
18. 次回開催日の確認
19. 閉 会
20. 点 鐘

理事長報告

8月20日 夏期講習
8月21日 8月例会・定時総会
8月24日 新理事研修
8月25日 第9回正副理事長会議
8月26日 寺子屋
8月27日 しまなみフェス
9月2日 9月合同委員会
9月6日 第9回理事会

於： シネマ尾道
尾道ふれあいの里
於： 尾道ふれあいの里
於： グリーンヒル尾道
於： 事務局
於： 尾道市内
於： サンセットビーチ
於： ベイタウン尾道
於： 尾道国際ホテル

事務局連絡

9月8日 仮入会員研修 1日目
9月10日 9月例会
9月12日 湯崎知事 県政報告会
9月15日 仮入会員研修 2日目
9月17日 広島ブロック協議会 会員会議所
9月18日 広島ブロック協議会 会員大会
9月23日 教育推進会議
9月27日 第10回正副理事長会議
上程締め切り 23日17:00まで
9月30日 日本青年会議所 総会
10月1日 第60回全国会員大会
10月2日 名古屋大会
10月3日 10月合同委員会
10月6日 第10回理事会

於： 商工会議所301号
於： 尾道国際ホテル
於： 尾道国際ホテル
於： 商工会議所301号
於： 府中市内
於： 府中市内
於： 尾道市民センターむかいしま
於： 事務局
於： 名古屋国際会議場
於： 名古屋国際会議場
於： ナゴヤドーム
於： ベイタウン尾道
於： 尾道国際ホテル

委員会報告

期間:2011年8月9日～9月1日

委員会名	日 時	場 所	議 題
ブロック会員研修	8月23日	事務局	新理事研修について
実行委員会			
夢のまち創造委員会			
社会開発委員会			
尾道経済活性化委員会	8月11日	ふれあいの里	夏期講習について
	8月13日	たまがんぞう	9月例会について
	8月17日	ふれあいの里	夏期講習について
次代の宝育成委員会	8月9日	事務局	寺子屋について
	8月23日	西国寺	寺子屋について
	8月25日	尾道塩干	寺子屋について
LOVEしまなみ委員会	8月18日	ラブワン	しまなみ音楽フェスについて
	8月25日	ラブワン	しまなみ音楽フェスについて
	8月26日	事務局	しまなみ音楽フェスについて
PEACEおのみち委員会	8月10日	事務局	遊休資源の活用について

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案)

審議事項

委員会名：社会開発委員会

委員長名：檀上 貴晴

(1) 議案名 魅力あるまちづくりへの調査・研究・実践 事業報告 (案) に関する件

(2) 事業名 「ちびっこ夢ひろば」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

昨今、尾道の知名度の急上昇により市外・県外からの観光客の増加、全国へ向けた情報発信の必要性などに伴い、“みなと祭”において観光客の中核である大人をターゲットとしたイベントが中心となり、子供達に向けたイベントが非常に少ない現状があります。

しかし、幼少時代に“みなと祭”で感動し、楽しんだ思い出は、祭への愛着に変わり、将来、再び参加していただけるきっかけになるでしょう。

事業を通し、子供達に“みなと祭”において、非日常的な体験に感動させ、楽しい思い出として記憶に残してあげることが、必ず将来、“みなと祭”の財産になると確信しております。

b. (対内)

尾道最大のフェスティバル“みなと祭”において、まちづくりの団体としてJCの存在をアピールすると共に、その時代、状況を研究し、行動力のある我々の若い力で“みなと祭”を盛大に盛り上げていくことがイノベーションであり、我々の明るい豊かなまちづくりの実践に繋がります。

(4) 実施日時 2011年 4月 30日 (土) ～ 5月 1日 (日)

(5) 場 所 尾道市役所周辺

(6) 参加人員 内部 17名 外部 10名 計 27名

(7) 外部協力者 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会、尾道市消防局

(8) 事業の目的は達したか？

「ちびっこサーキット&トライアルデモショー」「ちびっこレスキュー」「ちびっこ未来写真館」「フワフワ」といった幼稚園から小学校低学年までの子どもをターゲットとしたアトラクションを開催することにより、みなと祭に子ども達の賑わいの創出ができたと考えます。

また、尾道JCの港まつりでの存在意義も再構築され、市民の皆様からの認識も高まったと考えます。

(9) 実施上の問題点

当初予定動員数の 1300 人に対し、動員人数 1109 人、85%と、集客面で予定を下回る結果となりました。港まつり実行委員会が作成する全体のポスターやチラシではなく、独自の広報が必要です。

(10) 次年度への引継事項

委員会の開催数も少なく、初回の開催から当日までの期間も短いため、実行委員会の発足時には、企画案・予算案の上程が必要です。また、実行委員会の広報に加え、独自に広報活動を積極的に行う必要があります。

(11) 委員長所見

子どもを対象にしたイベントということで、4つのアトラクションを開催いたしました。無料または利用料金が安価、そして、何よりも内容自体が極端に単純なものについては十分な結果を出すことができ、子ども目線を重視した企画の必要性を強く感じました。

また、港まつり協賛部会決算報告会において、本事業について、「新しい流れであり、この流れを港まつり協賛部会として評価している」と大変嬉しいご意見もいただきました。

これも、当日、朝早くから長時間にわたりご協力いただいた多くのメンバーの皆様のお陰でございます。本当に皆様、ご協力ありがとうございました。

理事会 2011年 9月 6日

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案)

審議事項

委員会名：社会開発委員会

委員長名：檀上 貴晴

(1) 議案名 尾道の伝統文化継承の調査・研究・実践 事業報告 (案) に関する件

(2) 事業名 「祇園祭 三体廻し」への参画

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外) b. (対内)

尾道を代表する「祇園祭 三体廻し」は、一時期戸途絶えておりましたが、尾道青年会議所の諸先輩方により1978年復活し、現在まで継続的に開催されております。

本年度より、三体みこし保存会の事務局を久保八幡神社総代会（亀山八幡宮総代会）に引き渡すこととなりました。次年度以降、三体廻しが潤滑に維持継承されるためにも、今まで我々が培った運営のノウハウと、定着しつつある前夜祭企画を確固たる企画として引き渡せるよう、移管の年として、参画をしていきたいと考えます。

(4) 実施日時 2011年 7月 9日 (土) 17:00～22:00

(5) 場 所 尾道市街地 尾道渡船乗場前周辺 於

(6) 参加人員 内部 86名 外部 170名 計 256名

(7) 外部協力者 御袖 50名 久保 50人 一宮 50人 その他20名
尾道ケーブルテレビ 尾道FM

(8) 事業の目的は達したか？

前夜祭企画については、祇園祭当日の一週間前に開催日を固定すること、人力での神輿の渡御、また「まとい」を新しく製作し、神輿の巡航に活気を加えるなど、次年度以降も継続可能な新しいスタイルが形成され、確固たる企画として引き渡し完了しました。

また、当日の運営全般及び事務局業務についても、委員会に参加していただくなど、新体制となった三体みこし保存会（久保八幡神社総代会）と協同して進め、今までJCが受け持ってきた部分を十分に把握していただき、完全に引き渡しを完了しました。

については、次年度以降、JCは運営全般及び事務局業務に関与することなく、協力団体として、協力依頼内容を精査し、可能な部分で協力をすることとなります。

(9) 実施上の問題点

警備担当者の判断ミスにより、観客が会場内に流入するケースがありました。その為、当日のシナリオを理解した担当者の増員が必要だと考えます。

また、終了後のパフォーマンス時に、警備を充実させたにもかかわらず、渡船への観客の流入を

防ぎ切れませんでした。パフォーマンスの有無にかかわらず、渡船出入り口前の封鎖も検討すべきだと考えます。

(10) 次年度への引継事項

本年度まで受け持ってきた運営全般及び事務局業務はすべて三体みこし保存会が取り仕切りま
す。次年度以降、どのような協力依頼があるか不明ではありますが、JCの持つ警備に関するノウ
ハウを考えると、警備を主に担当する可能性があります。その場合、シナリオの徹底した把握、
当日の観客の動きなど、三体みこし保存会と綿密な事前の打ち合わせを十分にさせていただきたい
と考えます。

また、引渡しが完了したからには、新体制の三体みこし保存会に運営をすべて任せ、協力依頼内
容が運営に関わるものかどうかをしっかりと見極めていただき、万一、運営に関わるものであった
場合には、しっかりと精査をしていただきたいと考えます。

(11) 委員長所見

本年度、三体みこし保存会役員の改選が元となり、事務局から外れることとなりましたが、主催
者である三体みこし保存会のもと、30年以上続く現在の「三体まわし」がさらに盛大に執り行わ
れるよう、協力団体として、尾道のまちづくり一環として、祇園祭に継続的な協力をお願いいた
します。

皆様の多くのご協力のもと、本年度も三体まわしは、大きな事故もなく無事終了をいたしました。
皆様には、お忙しい中ご協力をいただきましたこと深くお礼申し上げます。

理事会 2011年 9月 6日

(社) 尾道青年会議所 補正予算 (案)

審議事項

委員会名：夢のまち創造委員会

委員長名：坂本 篤勇

(1) 議案名 海フェスタへの支援・企画・参画 補正予算 (案) に関する件

(2) 事業名 おのみち灯りプロジェクト「シーサイドパレード」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外) b. (対内)

事業を実施するにあたり、想定外の費用が発生したため改めて予算を組み直し、適切な経理処理を行うことを目的とします。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 7月23日 (土)

b. 場 所 尾道市新浜通り 県営上屋北道路

c. 予算総額 ￥14,000,000 (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 事業報告書のとおり

e. 動員計画 実施済み

f. 外部協力者 事業報告書のとおり

g. 実施組織・推進リーダー 夢のまち創造委員会 委員長 坂本篤勇

h. 実施手順・プログラム

2011年 8月25日 (木) 第9回正副理事長会議 審議

2011年 9月 6日 (火) 第9回理事会 審議

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

(6) 審議のポイント

補正予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見)

対応)

(8) 他委員会への依頼事項等

(9) 添付資料

事業収支補正予算書 (案)

収支補正予算明細書 (案)

理事会

2011年 9月 6日

事業収支補正予算書(案)

事業名 おのみち灯りプロジェクト「シーサイドパレード」

収入の部								
大科目	中科目	小科目	細目	当初予算	補正予算	差 異	備 考	
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		7,000,000	7,000,000	0		
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0		
	登録料収入					0		
	懇親会収入					0		
	販売収入					0		
	広告料収入					0		
	負担金収入					0		
補助金等収入	雑収入					0		
	国庫補助金収入					0		
	地方公共団体補助金収入					0		
	民間補助金収入					0		
	国庫助成金収入					0		
寄付金収入	地方公共団体助成金収入			7,000,000	7,000,000	0		
	民間助成金収入					0		
	寄付金収入					0		
募 金 収 入					0			
収 入 合 計				14,000,000	14,000,000	0		
支出の部								
大科目	中科目	小科目	細目	当初予算	補正予算	差 異	備 考	
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人 件 費 支 出			0		
			食 事 代 支 出			0		
			会 場 費 支 出			0		
			設 営 費 支 出	7,264,917	7,068,422	196,495		
			運 送 費 支 出			0		
			レ ン タ ル 料 支 出			0		
		小 計		7,264,917	7,068,422	196,495		
		企画演出費支出	人 件 費 支 出	52,500	52,500	0		
			食 事 代 支 出	27,300	153,600	-126,300		
			企 画 費 支 出	174,345	177,380	-3,035		
			演 出 費 支 出	5,460,000	5,768,966	-308,966		
			旅 費 交 通 費 支 出	214,510	213,010	1,500		
		小 計		5,928,655	6,365,456	-436,801		
		本部関係費支出	人 件 費 支 出			0		
			食 事 代 支 出			0		
			会 場 費 支 出			0		
			設 営 費 支 出		110,266	-110,266		
			旅 費 交 通 費 支 出			0		
			通 信 費 支 出	31,355	26,355	5,000		
			運 送 費 支 出			0		
			消 耗 品 費 支 出			0		
			レ ン タ ル 料 支 出			0		
			保 険 料 支 出			0		
		小 計		31,355	155,821	-124,466		
		講師関係費支出	食 事 代 支 出			0		
			旅 費 交 通 費 支 出			0		
			宿 泊 費 支 出			0		
			保 険 料 支 出			0		
			諸 謝 金 支 出			0		
			会 合 費 支 出			0		
		小 計		0	0	0		
		広報費支出	運 営 費 支 出			0		
			会 場 費 支 出			0		
			設 営 費 支 出			0		
			通 信 費 支 出	21,000	15,120	5,880		
			消 耗 品 費 支 出	7,276	9,236	-1,960		
			レ ン タ ル 料 支 出			0		
			作 成 費 支 出	183,750	183,750	0		
			P R 費 支 出			0		
		小 計		212,026	208,106	3,920		
		資料作成費支出	通 信 費 支 出			0		
			資 料 費 支 出			0		
			消 耗 品 費 支 出		68,580	-68,580		
			レ ン タ ル 料 支 出			0		
		小 計		0	68,580	-68,580		
		報告書作成費支出	通 信 費 支 出			0		
			資 料 費 支 出			0		
			消 耗 品 費 支 出			0		
			レ ン タ ル 料 支 出			0		
		小 計		0	0	0		
		懇親会費支出	人 件 費 支 出			0		
			会 場 費 支 出			0		
			設 営 費 支 出			0		
			旅 費 交 通 費 支 出			0		
			運 送 費 支 出			0		
			レ ン タ ル 料 支 出			0		
			保 険 料 支 出			0		
			飲 食 費 支 出			0		
			アトラクション費支出			0		
		小 計		0	0	0		
		渉外費支出	役 員 渉 外 費 支 出			0		
			記 念 品 代 支 出			0		
		小 計		0	0	0		
		旅費交通費支出	旅 費 支 出			0		
			交 通 費 支 出			0		
			宿 泊 費 支 出			0		
		小 計		0	0	0		
		参加記念品代支出				0		
		保 険 料 支 出			119,800	128,210	-8,410	
		通 信 費 支 出				360	-360	
		販 売 物 品 仕 入 支 出				0	0	
		雑 費 支 出			2,000	5,045	-3,045	
		事業予備費支出			441,247	0	441,247	
支 出 合 計				14,000,000	14,000,000	0		

収支補正予算明細書(案)

事業名 おのまち灯りプロジェクト「シーサイドパレード」
 <収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			7,000,000	
地方公共団体助成金収入	補助金等収入			7,000,000	尾道市
合 計				14,000,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費支出	会場設営費支出	会場設営費支出	会場設営費関係	900,900	(株)ティー・クリエーション
	会場設営費支出	会場設営費支出	仮設トイレ	667,380	R&R
	会場設営費支出	会場設営費支出	音響関係費(追加マイク・スピーカー込み)	1,759,443	(株)ティー・クリエーション
	会場設営費支出	会場設営費支出	警備関係費	2,700,000	(有)エイチ・アイカンパニー
	会場設営費支出	会場設営費支出	ゴミ箱(アームロールコンテナ)×3	70,000	(有)和弘商事
	会場設営費支出	会場設営費支出	ゴミ箱(アームロールコンテナ)×1	20,000	(有)オオタ産業
	会場設営費支出	会場設営費支出	仮設トイレ汲み取り	37,012	栗尾衛生社
	会場設営費支出	会場設営費支出	シャトルバス	525,000	おのまちバス
	会場設営費支出	会場設営費支出	バルーン型灯光器	88,200	R&R
	会場設営費支出	会場設営費支出	水・アクエリアス(スタッフ・参加者用)	138,000	ラムー松永店
	会場設営費支出	会場設営費支出	お茶	34,650	ユーシーシーフーズ(株)
	会場設営費支出	会場設営費支出	駅前警備用PA	63,000	株式会社いずみ
	会場設営費支出	会場設営費支出	レンタカー-BMW650	20,000	株式会社ブリッジ
	会場設営費支出	会場設営費支出	レンタカー-ガソリン代	3,443	GS
	会場設営費支出	会場設営費支出	トランシーバー電池	5,670	ダイソー
	会場設営費支出	会場設営費支出	軍手	5,940	アタック
	会場設営費支出	会場設営費支出	クーラーボックス145L×6	27,216	R&R
	会場設営費支出	会場設営費支出	ゴミ袋	1,770	ハローズ
	会場設営費支出	会場設営費支出	飲料梱包用ラップ	798	ユーホー
	小 計			7,068,422	
	企画演出費支出	企画費支出	制作管理費	177,380	(株)ティー・クリエーション
	企画演出費支出	演出費支出	進行運営(人件費含む)	887,250	(株)ティー・クリエーション
	企画演出費支出	演出費支出	ディズニー関連費用	4,567,500	(株)オリエンタルランド
	企画演出費支出	演出費支出	ディズニー楽屋 軽食付き	136,867	グリーンヒルホテル尾道
	企画演出費支出	演出費支出	一宮神社 謝金	100,000	一宮神社総代会
	企画演出費支出	演出費支出	復興支援ステッカー代(一部充当)	77,349	(株)ベッセル
	企画演出費支出	旅費交通費支出	マーチングバンド	128,050	環太平洋大学 マーチングバンド部
	企画演出費支出	旅費交通費支出	ミス海の日(本人+マネージャー)JR	69,960	ミス日本コンテスト事務局
	企画演出費支出	旅費交通費支出	ミス海の日(本人+マネージャー)	15,000	グリーンヒルホテル尾道
	企画演出費支出	人件費	ミス海の日 謝金	52,500	ミス日本コンテスト事務局
	企画演出費支出	食事代	出演者弁当@300×432人	129,600	(有)やすもと
	企画演出費支出	食事代	イベント会社用昼16個@500・夜20個@800	24,000	(有)やすもと
	小 計			6,365,456	
	本部関係費支出	通信費支出	警備・運営本部臨時電話設置(通話料込)	26,355	トータルアシスト(株)
	本部関係費支出	設営費支出	スタッフTシャツ	108,000	総合衣料 ももたに
	本部関係費支出	設営費支出	受付備品	210	ダイソー
	本部関係費支出	設営費支出	受付備品	168	ヤマダヤ
	本部関係費支出	設営費支出	テーブルカット白	1,416	ヤマダヤ
	本部関係費支出	設営費支出	テーブルカット赤	472	ヤマダヤ
	本部関係費支出	渉外費支出	来賓土産	4,200	尾道塩干(株)
	本部関係費支出	渉外費支出	来賓土産	15,000	(株)カタオカ
	小 計			155,821	
	広報費支出	通信費支出	郵送料@210×72箇所	15,120	郵便局
	広報費支出	作成費支出	ポスター2000枚(B2)	183,750	(株)ティー・クリエーション
	広報費支出	消耗品費支出	ポスターボックス(発送用)	7,276	カウネット
	広報費支出	消耗品費支出	宛名ラベル	1,960	ユーホー
	小 計			208,106	
	資料作成費支出	消耗品費支出	トナー、インク等	25,740	カウネット
	資料作成費支出	消耗品費支出	インク、マスター	42,840	株式会社弘法
	小 計			68,580	
	参加記念品代支出				
	保 険 料 支 出		メンバー・ボランティアスタッフ・出演者	35,000	(有)ラブリワン
	保 険 料 支 出		施設賠償責任保険	93,210	(有)ラブリワン
	通 信 費 支 出		郵便代	360	郵便局
	販 売 物 品 仕 入 支 出				
	雑 費 支 出		振込手数料@840×3@525×1	3,045	広島銀行
	雑 費 支 出		収入印紙(オリエンタルランド契約)	2,000	郵便局
事業予備費支出				0	
合 計				14,000,000	

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案) 決算 (案)

審議事項

委員会名：夢のまち創造委員会

委員長名：坂本篤勇

(1) 議案名 海フェスタへの支援・企画・参画 事業報告(案)決算(案)に関する件

(2) 事業名 おのみち灯りプロジェクト「シーサイドパレード」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外) b. (対内)

当初、本年7月に企画されておりました「海フェスタおのみち」ですが、東日本大震災の発生により、1年の延期が決定いたしました。尾道市では当初企画しておりましたイベントの全てを中止する事は地域経済の後退をもたらし、自粛をすることは被災地への復興支援につながらないという思いから、東日本大震災復興支援イベントを「おのみち灯りプロジェクト～届けよう希望の光・夢・未来～」と題し行う事を決定いたしました。(社)尾道青年会議所では、この「おのみち灯りプロジェクト」に尾道の海岸通りを各団体にパレードをしていただく「シーサイドパレード」という形で企画・参画し、被災地への復興支援を行いたいと考えます。具体的には尾道から元気を送るという形で復興支援。また「シーサイドパレード」において、ブース出展をし、募金活動及び被災地支援の啓蒙活動を実施したいと考えます。

(4) 実施日時 2011年 7月23日(土) 18:00～19:20

(5) 場 所 尾道市新浜通り 県営上屋北道路

(6) 参加人員 内部76名 外部44,924名 計45,000名

(7) 外部協力者

ベッチャー太鼓様、尾道市長／平谷祐宏様、国土交通省 大臣官房審議官／後藤靖子様、2011年ミス日本「海の日」樋口彩乃様、TDRアンバサダー／馬場智子様、2011年度ミス尾道 馬原美晴様・永田冴様、IPU環太平洋大学マーチングバンド部様、広島県東部合同バトンチーム様、ええにゃん様、YAYOIバトンスクール様、三十路団様、バーニングハートフェニックス空修会館様、因島水軍まつり実行委員会様、一宮神社総代会様、オリエンタルランド様、広島県立尾道北高等学校器楽部様、スタジオPICK様、アジュレ様、尾道市様、市立尾道大学様、学校法人尾道学園尾道高等学校様、尾道商工会議所様、(社)尾道観光協会様、尾道しまなみ商工会様、常石造船(株)様

(8) 事業の目的は達したか？

来場者数4万5千人と、予想を越える観客の方に「シーサイドパレード」を楽しんでいただきました。東日本大震災復興支援という目的のもと、尾道より被災地へ元気を届けるという目的を十分に達成できたと考えます。子供達からの「笑顔を東北に届けたい」という声や、大人達からの「地方から被災地へ元気を届けたい」という声を各所からいただきました。

多くの方が近隣のスーパーやコンビニ等で飲食物の購入をされました。7割以上の来場者の方が「シーサイドパレード」終了後すぐには帰宅されず、尾道商店街の土曜夜店へと足を運ばれ、屋台から商品が売り切れたという声も聞きました。新浜から駅前、海岸通り、商店街等の旧市街地へ大多数の方が移動され、相当の経済効果があったものと考えます。

募金ブースの設置により来場者の方々から30万円近くの義援金をいただき、これにより相馬保育園の子供たちに必要なものを贈る事ができました。

(9) 実施上の問題点

準備期間が2ヶ月弱と少ない中、警察との調整、近隣住民の方との調整、公共交通機関との調整、駐車場の調整、出演者との調整等、問題が山積しておりました。

多くの方に無理をお願いし、なんとか実施する事ができましたが、一番強く感じている問題点はJ C内で各メンバーへの行動予定を十分に説明することが出来ず、前日・当日の2日間多くの方が戸惑われた結果になり、責任を痛感しております。

コース東側（ゴール地点付近）のスピーカー数が足りず、必要な場所にアナウンスが届いておりませんでした。警察、警備員、ボランティアスタッフの方の誘導の協力をいただきましたが、結果、東側から来られる来場者の方を、十分に空きスペースのあるコース西側（スタート地点周辺）へ誘導することが出来ない結果に終わってしまいました。空いたスペースがあれば来場者の方が自然に移動してくれると思い込んでおりましたが、群衆心理を良く考える事が必要でした。

パレード構成の中で打合せ不足が多々あり、ええじゃんS A N S A ・ がり3チームの進行が特に遅れました。音源車との距離が遠くなり空修会館様の後方出演者の方々に音が聞こえにくい事がありました。因島水軍陣太鼓様の音源車のトランペットスピーカーが前方を向いており、ええじゃんS A N S A ・ がりのチームと音がかぶりました。

結果、パレードの終了時間が20分以上超過致しました。

これら以外にも多くの問題があったと思います。打合せ不足、配慮不足を反省しております。

(10) 次年度への引継事項

次年度はいよいよ「海フェスタおのみち」が開催となります。同じようなパレードを行うのであれば本年度の問題点や反省点を精査し、早くからの警察や近隣住民の方への対応が必要です。

海上パレードを行うのであれば、警察許可のハードルが相当高くなることが考えられます。海上保安庁への打合せも必要になってきますので、ルートや演出方法を早く考える事が必要です。

本年度は様々な理由で当初予測を遥かに超える出費となりました。費用確保に向け様々な団体との打合せが必要であると考えます。

次年度は本年よりも多くの来場者が見込まれます。対応を十分考える事が必要です。

(1 1) 委員長所見

尾道市の方をはじめ、尾道商工会議所、尾道観光協会、各企業、各学校等々、様々な方々の多大なるご協力をいただき初めて成功を収めた事業であったと思います。また出演者の方々からもぜひ出演をさせて欲しいとのお言葉をたくさんいただきました。不備が多々あり申し訳なく思っていますが、来場者の方々の多くの笑顔を見ることができ、すべての苦勞が報われたものと思います。最後に尾道青年会議所のすべてのメンバーに心よりの感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

(1 2) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

理事会 2011年 9月 6日

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：ブロック会員研修実行委員会
副実行委員長名：佐藤敏章

(1) 議案名 仮入会員研修 事業計画 (案) 予算 (案) に関する件

(2) 事業名 仮入会員研修

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 本年度、仮入会員として入会された9名に対し、青年会議所活動及び運動への理解を深めて頂き、11月には全員正会員となって頂き、新入会員として青年会議所の活動が円滑に行われるようにJCに関する基礎知識を学んで頂くことを目的と致します。

また、一昨年・昨年からの内容を引き継ぎ、尾道青年会議所としての仮入会員研修のスタイルを確立したいと考えます。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月 8日 (木) 19:00~20:30

9月15日 (木) 19:00~20:30

b. 場 所 尾道商工会議所301号室 (予定)

c. 予算総額 ￥50,000 (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 28名 外部 0名 計 28名

(内部内訳：理事長1名、担当副理事長1名、専務理事1名、事務局長1名、セクレター5名、ブロック会員研修実行委員会11名、仮入会員8名)

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー ブロック会員研修実行委員会 桑田智也

h. 実施手順・プログラム

2011年 7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	協議
2011年 8月 8日 (月)	第8回理事会	協議
2011年 8月25日 (木)	第9回正副理事長会議	審議
2011年 9月 6日 (火)	第9回理事会	審議
2011年 9月 8日 (木)	仮入会員研修1日目	実施 (予定)
2011年 9月15日 (木)	仮入会員研修2日目	実施 (予定)

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

仮入会員は、三体廻し・夏期講習・9月合同委員会に参加し、少しずつ青年会議所の事業にも慣れてきた頃だと思います。そのタイミングで、青年会議所の目的やJC用語等の説明を聞くことで、より青年会議所に理解を深めて頂きます。

08年以前は、先輩の方を講師にお招きしての講演を軸に、JC活動の説明などを聞いて学ぶ事を主とした内容でしたが、09年、10年はJC Iクリート及び綱領・宣言の発表等、仮入会員

が前に出て発表する場もありました。近年入会者によると、即実践に繋がり有意義だったと言う意見が有りましたので、今年も０９、１０年のスタイルを受け継ぎたいと考えます。

(６) 審議のポイント

予算内容について

(７) 会議での意見とその対応

意見) ２日間に分けて行うのはなぜか。

対応) ０９年は３日間、１０年は２日間に分けて実施しています。報告上程に仮入会員が全日の日程調整は難しいとありました。その事から、今年は１日間でとも考えましたが、欠席した場合は全くその場の雰囲気を感じられない点、時間が３時間となり集中力のとぎれ等の点から、１時間３０分の２日間で実施することに致しました。

(８) 他委員会への依頼事項等

正副推薦者及び拡大に携わった方に関しても、仮入会員全員が出席できるよう連絡等の御協力をお願いします。

(９) 添付資料

事業収支予算書(案)

収支予算明細書(案)

仮入会員研修次第(１日目)(案)

仮入会員研修次第(２日目)(案)

J C用語集(回覧)

理事会 ２０１１年 ９月 ６日

事業収支予算書(案)

事業名

仮入会研修

収入の部								
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考	
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		50,000	50,000	0		
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0		
	登録料収入					0		
	懇親会収入					0		
	販売収入					0		
	広告料収入					0		
	負担金収入					0		
補助金等収入	雑収入					0		
	国庫補助金収入					0		
	地方公共団体補助金収入					0		
	民間補助金収入					0		
	国庫助成金収入					0		
寄付金収入	地方公共団体助成金収入					0		
	民間助成金収入					0		
	寄付金収入					0		
収入合計				50,000	50,000	0		
支出の部								
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考	
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			会場費支出	2,000	2,000	0		
			設営費支出	7,350	7,350	0		
			運送費支出			0		
			レンタル料支出			0		
		小計		9,350	9,350	0		
		企画演出費支出	人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			企画費支出			0		
			演出費支出			0		
			旅費交通費支出			0		
		小計		0	0	0		
		本部関係費支出	人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			会場費支出			0		
			設営費支出			0		
			旅費交通費支出			0		
			通信費支出			0		
			運送費支出			0		
			消耗品費支出			0		
			レンタル料支出			0		
			保険料支出			0		
			渉外費支出			0		
		小計		0	0	0		
		講師関係費支出	食事代支出			0		
			旅費交通費支出			0		
			宿泊費支出			0		
			保険料支出			0		
			諸謝金支出			0		
			会合費支出			0		
		小計		0	0	0		
		広報費支出	運営費支出			0		
			会場費支出			0		
			設営費支出			0		
			通信費支出			0		
			消耗品費支出			0		
			レンタル料支出			0		
			作成費支出			0		
			PR費支出			0		
		小計		0	0	0		
		資料作成費支出	通信費支出			0		
			資料費支出			0		
			消耗品費支出			0		
			レンタル料支出			0		
		小計		400	350	50		
		報告書作成費支出	通信費支出			0		
			資料費支出			0		
			消耗品費支出			0		
			レンタル料支出			0		
		小計		0	0	0		
		懇親会費支出	人件費支出			0		
			会場費支出			0		
			設営費支出			0		
			旅費交通費支出			0		
			運送費支出			0		
			レンタル料支出			0		
			保険料支出			0		
			飲食費支出			0		
		小計		0	0	0		
		渉外費支出	役員渉外費支出			0		
			記念品代支出			0		
		小計		0	0	0		
		旅費交通費支出	旅費支出			0		
			交通費支出			0		
		小計		0	0	0		
		参加記念品代支出	参加記念品代支出			0		
			保険料支出			0		
			通信費支出			0		
			販売物品仕入支出			0		
		雑費支出	雑費支出			0		
						0		
		事業予備費支出				40,250	40,300	-50
支出合計				50,000	50,000	0		

収支予算明細書(案)

事業名 仮入会研修
 <収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			50,000	
合 計				50,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費支出	会場設営費支出	会場費支出	会場費 1,000x2	2,000	尾道商工会議所
		設営費支出	看板代	7,350	(有)メディアジャンクション
	小 計			9,350	
	資料作成費支出	作成費支出	資料代	350	事務局
	小 計			350	
	小 計			0	
	小 計			0	
	小 計			0	
	参加記念品代支出				
	保険料支出				
	通信費支出				
	販売物品仕入支出				
	雑費支出				
事業予備費支出				40,300	
合 計				50,000	

2011年度社団法人尾道青年会議所

仮入会員研修次第(1日目)(案)

日時：2011年 9月 8日

19:00～20:30

場所：尾道商工会議所301号室（予定）

1. 開会		19:00
2. 点鐘		
3. 国歌並びにJC ソング斉唱		
4. JCI クリード唱和		
5. JC 宣言朗読並びに綱領唱和		
6. 出席者の確認		
7. 配布資料の確認		
8. 理事長挨拶		
9. 研修内容1日目	(JC の特徴について)	19:15
	(JCI クリードについて)	
	(JCI ミッションについて)	
	(JC の三信条について)	
	(JC 綱領について)	
	(JC 宣言について)	
	(JC 用語について)	
	(JC 役職について)	
	(幹事の役割について)	20:15
10. JCI クリード・JC 宣言練習		20:20
11. 質疑応答		20:25
12. 報告連絡事項		
13. 副理事長講評		
14. 閉会		
15. 点鐘		20:30

2011年度社団法人尾道青年会議所

仮入会員研修次第(2日目)(案)

日時：2011年 9月15日

19:00～20:30

場所：尾道商工会議所301号室(予定)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 開会 | 19:00 |
| 2. 点鐘 | |
| 3. 国歌並びにJCソング斉唱 | |
| 4. JCIクリード唱和 | |
| 5. JC宣言朗読並びに綱領唱和 | |
| 6. 出席者の確認 | |
| 7. 配布資料の確認 | |
| 8. 理事長挨拶 | |
| 9. 研修内容2日目 | |
| (JCIクリード・JC宣言発表) | 19:15 |
| (3分間スピーチ「仮入会研修を終えていま感じていること」) | |
| 10. 質疑応答 | 20:25 |
| 11. 報告連絡事項 | |
| 12. 副理事長講評 | |
| 13. 閉会 | |
| 14. 点鐘 | 20:30 |

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：尾道経済活性化委員会

委員長名：小林 輝久

(1) 議案名 9月例会行事 事業計画 (案) 予算 (案) に関する件

(2) 事業名 9月例会行事 テーマ「震災から半年、なぜ進まない震災復興」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内)

本来なら3月例会で講演いただく予定だった参議院議員佐藤公治先生をお招きし、震災復興のビジョンや原子力の問題、管内閣等について講演頂き、我々がまず社会の問題を自分の問題としてとらえ、自身を問題解決の主体として位置づける機会にしたいと思います。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月10日 (土) 19時20分～20時50分

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額 ￥60,000- (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 94名 外部 1名 計 87名

(内部内訳：現役会員86名 仮入会員：8名 計：94名)

e. 動員計画

f. 外部協力者 参議院議員 佐藤公治 先生

g. 実施組織・推進リーダー 委員長 小林輝久

委 員 谷原康弘

h. 実施手順・プログラム	2011年 7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	協議
	8月 8日 (月)	第8回理事会	協議
	8月25日 (木)	第9回正副理事長会議	審議
	9月 6日 (月)	第9回理事会	審議
	9月17日 (土)	9月例会	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

この例会行事を通じて尾道青年会議所会員の皆様にはこれまで以上に政治に関心を持っていただくと同時に、国政に携わる佐藤先生のビジョンを学ばせていただき、地域経済の発展と魅力ある故郷の創造を考える例会にしたいと思います。

(6) 審議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見：内容をしばって講演して頂いたほうがいいのでは

対応：震災に関する事例から、地域経済の重要性について講演をして頂きます。

(8) 他委員会への依頼事項等

佐藤先生との親睦を深めるため、例会行事終了後に懇親会を設営しております。その都合により、例会時間を変更させていただきます。委員会メンバーへの周知をお願いするとともに、メンバー全員の参加をお願いいたします。

(9) 添付資料

事業収支予算書（案）

収支予算明細書（案）

9月例会行事タイムスケジュール（案）

講師プロフィール（参考資料）

理事会 2011年 9月 6日

事業収支予算書(案)

事業名 9月例会行事 テーマ「～震災から半年、なぜ進まない震災復興～」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	-60,000	
	事業費繰入収入	事業費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	懇親会収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				0	60,000	-60,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出	7,000	-7,000		
			運送費支出		0		
			レンタル料支出		0		
		小計		0	7,000	-7,000	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計		0	0	0	
		本部関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
		小計		0	10,000	-10,000	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
			P R 費支出			0	
		小計		0	0	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		0	0	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
作成費支出				0			
小計		0	0	0			
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出			0			
	アトラクション費支出			0			
小計		0	0	0			
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
	記念品代支出			0			
小計		0	0	0			
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
	宿泊費支出			0			
小計		0	0	0			
参加記念品代支出			0	0			
保険料支出			0	0			
通信費支出			0	0			
販売物品仕入支出			0	0			
雑費支出			0	0			
事業予備費支出			43,000	-43,000			
支出合計			0	50,000	-50,000		

収支予算明細書(案)

事業名 9月例会行事 テーマ「～震災から半年、なぜ進まない震災復興～」

<収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	
合 計				60,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	例会看板	7,000	(有)メディアジャンクション
	小 計			7,000	
	講師関係費支出	食事代支出	懇親会費用	5,000	尾道国際ホテル
	講師関係費支出	記念品代支出	尾道乾物詰合せ	5,000	(株)カタカ
	小 計			10,000	
	小 計			0	
	小 計			0	
	小 計			0	
	参加記念品代支出				
	保 険 料 支 出				
	通 信 費 支 出				
	販売物品仕入支出				
	雑 費 支 出				
事業予備費支出				43,000	
合 計				60,000	

9月例会行事 タイムスケジュール (案)

1 9 : 2 0	例会行事開始	
1 9 : 2 0 ~ 1 9 : 2 3	委員長趣旨説明	3 分
1 9 : 2 3 ~ 2 0 : 2 3	講演	6 0 分
2 0 : 2 3 ~ 2 0 : 4 5	質疑応答	2 2 分
2 0 : 4 5 ~ 2 0 : 4 8	副理事長謝辞	3 分
2 0 : 4 8 ~ 2 0 : 5 0	講師退場	2 分
2 0 : 5 0	例会行事終了	

佐藤こうじ先生のプロフィール

- 1959 年 7 月 28 日 広島県尾道市向島町 生まれ
 - 1983 年 3 月 慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
 - 1983 年 4 月 株式会社電通 入社
 - 1990 年 3 月 株式会社電通 退社
 - 1990 年 4 月 国土庁長官 佐藤守良 秘書官 拝命
 - 1991 年 1 月 衆議院議員 佐藤守良 公設第一秘書 就任
 - 1994 年 4 月 北海道沖縄開発庁長官 佐藤守良 秘書官 拝命
 - 1994 年 7 月 衆議院議員 佐藤守良 公設第一秘書 再任
 - 1996 年 3 月 新進党 広島県第六総支部 会長 就任
 - 1996 年 10 月 第 41 回衆議院議員総選挙 出馬
 - 1999 年 7 月 自由党 広島県第六総支部 会長 就任
 - 2000 年 1 月 自由党 広島県総支部連合会 会長 就任
 - 2000 年 6 月 第 42 回衆議院議員総選挙 出馬および、当選
 - 2003 年 9 月 民主党 広島県総支部連合会 副代表 就任
 - 2003 年 11 月 第 43 回衆議院議員総選挙 出馬および、当選
 - 2005 年 3 月 民主党 広島県総支部連合会 代表 就任
 - 2005 年 9 月 第 44 回衆議院議員総選挙 出馬
 - 2006 年 9 月 民主党 広島県参議院選挙区第二総支部 総支部
 - 2007 年 7 月 第 21 回参議院議員選挙 出馬および、当選
-

国会議員在職中の委員経歴

- 常任委員
 - 逓信委員(ていしんいいん)
 - 総務委員
 - 厚生労働委員
 - 文部科学委員
 - 安全保障委員
 - 懲罰委員
 - 経済産業委員
- 特別委員
 - 沖縄及び北方領土に関する特別委員
 - イラク人道復興支援並びに国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動等に関する特別委員
 - 国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動並びにイラク人道復興支援活動等に関する特別委員

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案)

審議 事項

委員会名：次代の宝育成委員会

委員長名：西本 周一郎

(1) 議案名 親の教育力向上事業の調査・研究・実践に関する件

(2) 事業名 徳溢れる心醸成会議 第3小委員会プログラム「リアル熟議in日本人の教育推進会議」
テーマ「今、子どもたちに学んでほしいこと」
～学校・家庭・地域の協働による教育づくり～

(3) 事業目的 (趣旨)

「徳溢れる心醸成プロジェクト (教育推進会議実施計画) 及び予算 (案) 承認の件」より引用

a. (対外)

徳溢れる心を醸成するためには、日本人の高い精神性と美意識を更に高める教育や、品格と価値観ある教育者による教養を論ずることが必要であると考えます。そのためには、まずは教育に関わる諸団体のそれぞれの立場の主張を理解し議論をする場を創設し、情報を共有することが必要です。本事業では教育関係団体と定期的な会議を開催し、日本 (地域) の教育の課題についてそれぞれの立場での問題点を意見交換し、共通の認識、各団体の目的、方向性を確認することで、国 (地域) の道徳力を高める公教育の実現を目的とした会を創設します。

b. (対内)

徳溢れる心を醸成するためには、日本人の高い精神性と美意識を更に高める教育や、品格と価値観ある教育者による教養を論ずることが必要であると考えます。そのためには、まずは教育に関わる諸団体のそれぞれの立場の主張を理解し議論をする場を創設し、情報を共有することが必要です。本事業では教育関係団体と定期的な会議を開催し、日本 (地域) の教育の課題についてそれぞれの立場での問題点を意見交換し、共通の認識、各団体の目的、方向性をメンバーが確認し、さらに日本青年会議所が全国組織の教育関係団体とつながることで、地区、ブロック、LOM、地域でおきている教育問題を抽出し、全国組織の教育関係団体や学校関係者にJCメンバーと地域の声をつなげることで、JCメンバーと地域が学校 (教育) を支える仕組み (コミュニティスクール等) を推進していきます。それによりJCメンバーが教育に対してより関心を持ち、次代の子どもたちの教育に積極的に参加できる仕組みを構築していくことで、道徳力を高める公教育の実現を図ります。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 9月23日 (金、祝日) 13:00～17:30

b. 場 所 尾道市民センターむかいしま 大研修室 (尾道市向島町5531番地1)

c. 予算総額 徳溢れる心醸成会議にて負担

d. 参加人員 内部25名 外部25名 計50名
(内部内訳 尾道JC15名 日本JC10名)

e. 動員計画

・文科省「熟議カケアイ」サイトによる掲載

http://jukugi.mext.go.jp/library_view?library_id=308

・尾道市しまなみ交流館広報、尾道市広報による告知

・尾道市教育委員会、尾道市PTA連合会からの資料配付による誘致

・外部協力団体、有識者のコネクションによる誘致

・尾道青年会議所メンバーによる教員、一般保護者の誘致

f. 外部協力者

メインゲスト

山口大学 教授 長畑実 様

(エクステンションセンター長、社会教育学、博物館学)

コーディネーター兼ゲスト

NPOおのみち寺子屋理事長 柿本和彦 様

開催協力 (相談役)

尾道市教育委員会 課長補佐兼主査 梶原弘志 様 (学校教育部 教育指導課)

〃 専門員 内海直子 様 (生涯学習課 生涯学習係)

(株)教育同人社 広報室長 余川亘 様

広島大学付属東雲中学校 副校長 神原一之 様

g. 実施組織・推進リーダー 委員 榊原 靖貴

主催 (公社) 日本青年会議所 次世代社会創造グループ 徳溢れる心醸成会議

共催 (社) 尾道青年会議所

後援 尾道市教育委員会、尾道市PTA連合会

徳溢れる心醸成会議 第3小委員会 (当プロジェクト推進者)

徳溢れる心醸成会議 島川副議長

h. 実施手順・プログラム	2011年	7月25日 (月)	第8回正副理事長会議	協議
		8月 8日 (金)	第8回理事会	協議
		8月29日 (月)	第9回正副理事長会議	審議
		9月 6日 (月)	第9回理事会	審議
		9月23日 (金)	事業	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

尾道の教育の課題についてそれぞれの立場での問題点を意見交換し、共通の認識、方向性をメンバーが確認し、さらに尾道青年会議所が地域の教育関係団体とつながることで今後の活動に役立てることができるものと考えております。是非ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

今回の会議では、講師をお招きし皆様にお話しを聞いていただくだけではなく、参加者が持っておられる意見を発表していただくことにより、尾道の教育の現状を皆様に認知いただきたいと思います。そのため、活発な意見交換で出来るように、各グループに別れていただき、意見交換を行っていただきます。また各グループにはファシリテーターをつけることで、より意見を交換し易い場を目指します。

また今回の会議で皆様からいただいた意見を政策に反映させていただくために、尾道市教育委員会、文部科学省にも御後援いただき、事前に相談をする等、御協力をいただく予定です。

(6) 審議のポイント

内容について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 一般保護者の誘致を行う上で、定員に対して募集が多かった場合、人選をどのように行うのか。

対応) 先着順とさせていただきます。ただし、会場が可能な限り定員を超えて受付をします。

(8) 他委員会への依頼事項等

出向先の要望により尾道にて開催することとなりました。尾道メンバーには下記のお願いをする事になると考えます。公私共にお忙しなか誠に申し訳ありませんがご協力のほどよろしくお願いします。

依頼事項

- ・事業に各委員会で2名程の参加
- ・一般参加者、教員参加の誘致（個別にご依頼します）

(9) 添付資料

- ・スケジュール(案)
- ・運営要綱(案)
- ・講師プロフィール
- ・熟議について
- ・アンケート(案)
- ・募集パンフレット(回覧資料)

リアル熟議 in 日本人の教育推進会議の運営要項（案）
テーマ「今、子どもたちに学んでほしいこと」
～学校・家庭・地域の協働による教育づくり～

2011/9/23

開演・挨拶など 10分

主催者代表挨拶	徳溢れる心醸成会議	穂坂議長
メインファシリテーター	徳溢れる心醸成会議	島川副議長

ゲストからの問題提起（熟議説明含む） 45分

ここでは、広く概念的に、スローガンの

- | | | | |
|--------|----|---------|----------------|
| 1)学校代表 | 5分 | 学校の立場から | 先生、教育委員会等(調整中) |
| 2)企業代表 | 5分 | 企業の立場から | 手塚理事長 |
| 3)地域代表 | 5分 | 地域の立場から | 柿本先輩 |
| 4)親代表 | 5分 | 親の立場から | PTA 関係者（調整中） |

※それぞれの立場から協働することの大切さを語ってもらい、協働の必要性を再確認する。

内容的には

- ・先生、保護者、地域の方々が情報を共有することの必要性
- ・それぞれの立場で今まで行ってきたこと。これから必要だと考えること

5)山口大学 長畑教授 15分

※熟議の流れをつくって貰う

「授業」のイメージを柔軟にもってもらい、流れをつくって貰うことでのちの議論がかみ合うようにする。

内容的には

- ・今、子どもたちを取り巻く環境（多様化、少子化、高齢化社会、その他課題等）
- ・なぜ、先生、保護者、地域の方々が情報を共有することが必要なのか
- ・簡単に各地での協働の例、授業プラン例
- ・尾道を日本一の教育のまちにする等々 熱く語って貰う

熟議の説明（メインファシリテーター） 10分

1. ゲストの問題提起を受けて話し合い

☆熟議1.「子どもたちに学んでほしいこと（地域でこんな子どもに育てたい）」 40分

こんな子どもに育てたいという話し合いの中で、学校の課題、共同の壁も出てくる

子どもの現状から出発し、子どもたちに身につけてほしいことを出し合う

- 1) こんな子どもに育ててほしいという願いや想いを、文字で表現します（付箋に書く）。

例：人と関わる力をつけたい、地域をもっと盛り上げたい、など

- 2) グループのメンバーがどんな願いや想いを持っているのかを知りましょう。

先生と保護者、地域ではそれぞれ考え方が違うところがあるかと思います。その方の年齢によっても考え方が違うかと思います。でもその中でも共通するところが見えてくるかと思います。

- 3) 自分たちのグループのテーマを見つけましょう。

例：感じる力、気付く力、動く力、つながる力、築く力、コミュニケーション能力など

休憩

10分

☆熟議2.「プラン(授業)を作る 地域とつくる授業プラン」

60分

こんなプランを実現すれば、子どもにこんな力がつくんだというプラン！

「こんなこととしてそれからこんなこととして最後には」というようなざっくりとした青写真を考える。

1) こんな授業をしたいと夢を描きましょう。

- ・今からできること、実現したいこと、前進したいこと
- ・自分がしたいこと、自分が人と協力して創っていきたいことを文字で表現しましょう。

(熟議1.とは違う色の付箋に書く)

2) メンバーの考えを受け止めながら、さらに視野を広げ、考えを深めていきましょう。

3) 模造紙にプランを描きましょう。

4) 自分が日頃考えていること、実践していることを多様な角度から立体的に見てみましょう。

自分のできること、お役にたてることはないか振り返ってみましょう。

5) グループのメンバーで考えたことを2分間で発表できるように準備しましょう。

全体シェア

20分

- ・それぞれのグループでどんな熟議がされたのかを分かち合います。

全体発表型

☆ゲストの総括(長畑教授)

45分

提案のあったプランの学びの豊かさ

実現の可能性とそのため助言

プランのブラッシュアップのアドバイス

私ならこうする！ゲストからの提案

各地での学校と地域が協働するモデルの紹介

地域と協働することで子どもに育つ力事例の紹介から「授業」のイメージを変える

2. 参加者としての立場

自分の職場や組織・団体などを代表して参加するのではなく、参加者一人一人が、「個」として参加しましょう。肩書きに縛られたり、縛ったりするのはやめましょう。

(例えば、昼間は行政マンでも、夜はパパ、土日は少年スポーツのコーチだったりするわけです)参加者みんなが、「尾道の教育に責任を持ち、一緒に課題を解決し、尾道、日本の教育をさらに前進させよう！とする仲間である」というところからかわりあいましょう。

3. 熟議に参加するにあたってのルール

- 1) 他の人の発言を良く聴きましょう。
- 2) 話すときは、みんなに聞こえるように話をしましょう。
- 3) 発言は、簡潔に分かりやすく伝えましょう(1回の発言で言いたいことは1つだけ)。
- 4) 人の発言を否定したり、傷つけたりするような発言はひかえましょう。
- 5) 共感や感想、自分の考えが変わったことなども伝えましょう。
- 6) 結論を誘導したり、無理にまとめようとしたりする必要はありません。
- 7) 多様な考えを場に出せるような雰囲気づくりをみんなですていきましょう。

各グループにファシリテーターがいます。ファシリテーターは、話しやすい場づくりに努め、出た考えを整理することに努めましょう。みなさんと共に熟議を創っていく立場で関わります。熟議をすすめるにあたって必要な係は、グループ内で積極的に分担しましょう。

例) ・タイムキーパー ・発表者 など

4. 熟議のグルーピングについて

- 1) グループは、2時間で話が深められるように、ファシリテーターを含めて6～7人で構成。
- 2) グループのメンバーは、多様であることが大切です。登録された参加者の所属（教職員、教員を目指す大学生、保護者、地域、教育行政、企業団体）に従い、主催者側であらかじめグループ分けをします。

山口大学 教授 長畑実（ナガハタミノル）氏

現職 山口大学 エクステンションセンター センター長

研究分野 社会教育学、博物館学

研究テーマ

新たな時代の要請に応える社会教育の在り方に関する研究

・社会教育、学校・家庭・地域の協働、協働のまちづくり

ミュージアムの地域活性化機能に関する研究

・ミュージアム・マネジメント、地域文化、まちづくり、市民参画

大学開放と地域連携のあり方に関する研究

・大学開放、地域連携、協働のネットワーク

委員歴・役員歴

防府市市民参画及び協働の推進に関する条例検討委員会 委員長 2011-2012

防府市まちづくり委員会 副委員長 2009-2011、防府市地域コミュニティ検討協議会 委員 2009-2012

岩国市立由宇中学校 コミュニティ・スクール推進委員 2010-2011

山口県セミナーパーク指定管理者選定委員会 委員長 2010-2011

宇部市文化芸術振興条例（仮称）検討委員会委員 会長 2010-2011

環境やまぐち推進会議 委員 2009-2011、周南市社会教育委員 2009-2011

宇部市ふるさと学習館設計競技審査委員会 委員 2009-2010

大学コンソーシアムやまぐち 運営委員長 2007-2009

広島県歴史民俗資料館及び歴史博物館評価委員会 委員 2008-2009

山口県立山口図書館運営協議会 会長 2006-2009、山口県環境学習推進協議会 会長 2006-2009

山口国体県民きらめきセンター運営委員会 委員長 2007-2009

山口県立山口中央高校 学校評議員・学校関係者評価委員 2008-2009

山口県中山間地域づくり懇話会 委員 2006-2008、山口県教育会 理事 2007-2009

宇部市緑と花と彫刻の博物館協議会 会長 2007-2009

やまぐち食と緑と水のフォーラム協議会 副会長 2007-2009

宇部市社会教育委員会 委員長 2007-2009、防府市生涯学習アドバイザー 2005-2011

防府市放課後子どもプラン運営委員会 委員 2007-2008

防府市市民参画懇話会 委員長 2006-2009、周南市公民館運営審議会 委員 2005-2009

秋吉台地域観光長期基本計画策定委員会 アドバイザー 2007-2008

秋吉台地域交通対策検討委員会 委員 2006-2007

山口情報芸術センター企画運営会議 委員 2005-2007

所属学会

日本ミュージアム・マネジメント学会、日本社会教育学会、全日本博物館学会、日本環境教育学会

リアル熟議の進行について（例）

熟議について

「熟議」とは、多くの当事者による熟慮と討議を重ねながら、政策形成・課題解決していくことです。相互に学び合いながら、解決策を洗練させるとともに、解決に向けてそれぞれが主体的に行動することをも目指すものです。

熟議の進め方

今回の熟議は、右イラスト図1、2のように2つのラウンド（議論の場）で構成しています。第1ラウンドは、課題を出し合い、共有化する場合、第2ラウンドは、課題解決策を出し合い、意見交換する場合です。

進め方は以下の通りです。（進行はファシリテーターが行います。）

●第1ラウンド ※ファシリテーターは、話しやすい場作りや出た考えの整理など、熟議の支援と促進を行います。

(1) 自己紹介（1人1分程度）

(2) 討議

①ピンク色の付箋紙に、テーマに関する課題を端的に記入します。（3分程度）

※1枚に課題を1件記入します。

※1人複数枚作成可能です。

②ファシリテーターの進行で、順に付箋紙を模造紙に貼りながら、発表していきます。

③ファシリテーターが課題を整理していきます。



●第2ラウンド

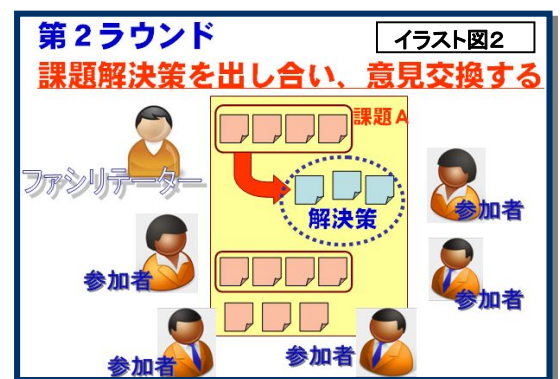
①まず発表者を決めます。

②ファシリテーターの指示に従って、第1ラウンドで明確になった課題に対する解決策を青色の付箋紙に記入します。（3分程度）

※中身としては、「課題に対して、自分はこうした、みんなでこうしましょう。」といった具体的な内容を記入します。

③ファシリテーターの進行で、順に付箋紙を模造紙上の関係する場所に貼りながら発表します。

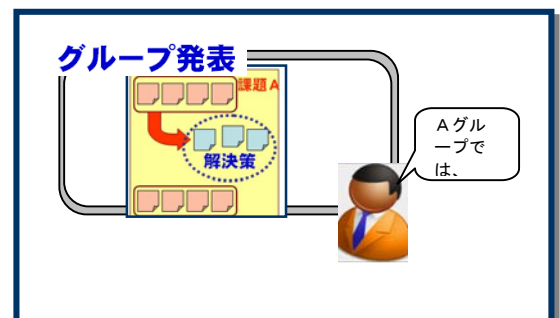
④ファシリテーターが解決策を整理し、発表内容を確認します。



●グループ発表

・各グループの討議結果を発表します。

※各グループ2分以内



<参考> 「熟議五カ条」

- | | | |
|-------------|-------------------------|-----------------|
| 一) 人の話をよく聴く | 二) 挨拶をする | 三) 簡潔に分かりやすく伝える |
| 四) 人を傷付けない | 五) 共感や感想、考えの変化があったら表明する | |
- 参照：熟議実践パッケージ「熟議__虎の巻」ver. 1.0 より

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

協議 事項

委員会名：次代の宝育成委員会

委員長名：西本 周一郎

(1) 議案名 10月例会行事 事業計画 (案) 予算 (案) について

(2) 事業名 10月例会行事 テーマ「Fathering=父親であることを楽しもう」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 昨今男性の育児休暇の必要性が叫ばれ注目されつつありますが、大多数の企業において旧態以前のまま育児休暇を取れていない現状があります。

一方少子化先進国のカナダでは「父親支援」が政府プロジェクトとして推進され、いまやほとんどの企業は男性の出産・育児休暇を認めています。それは「家庭での役割を担っている男性ほど、労働者としての生産性も高い」と共通認識が企業の中にあるからです。

この度の例会では、「Fathering=父親であることを楽しもう」と題して、父親の育児参加の重要性と、義務感からではなく「心から楽しんで取り組む育児」が母親や家族ひいては社会全体に及ぼす効果について、父親のみならず独身メンバーも意識し考えるきっかけとなる例会としたいと思います。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 10月17日 (月) 19時20分～20時50分

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額 ￥150,000- (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 94名 外部 1名 計 95名

(内部内訳：現役会員86名 仮入会員8名 計94名)

e. 動員計画

f. 外部協力者 NPO法人Fathering Japan 代表理事安藤哲也

g. 実施組織・推進リーダー 委員 三阪統之

h. 実施手順・プログラム	2011年	8月25日 (木)	第9回正副理事長会議	協議
		9月 6日 (金)	第9回理事会	協議
		9月 日 ()	第10回正副理事長会議	審議
		10月 6日 (木)	第10回理事会	審議
		10月17日 (月)	10月例会	実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

今までの「父親の育児参加」論は、参加意識が全くのゼロの状態からの意識啓発が主だった内容でした。今回は一歩踏み込んで、参加の仕方・取り組み方について

「楽しんで参加する」事の意義に重点を置いた内容にしました。

この事により育児参加に対するハードルの低減を図り、それが家族の一体感の醸成ひいては

働き方や企業側の意識改革、社会不安の減少に繋がると考えます。

(6) 協議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

(8) 他委員会への依頼事項等

各々の会社にも持って帰れるような内容にしています。

多くのメンバーに出席して頂き、今後の会社経営に役立てて頂きたいと思います

(9) 添付資料

事業収支予算書（案）

収支予算明細書（案）

10月例会行事タイムスケジュール（案）

講師プロフィール（参考資料）

理事会 2011年 9月 6日

事業収支予算書(案)

事業名 9月例会行事 テーマ「～震災から半年、なぜ進まない震災復興～」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	-60,000	
	事業費繰入収入	事業費繰入収入			100,000	-100,000	
	登録料収入					0	
	懇親会収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				0	160,000	-160,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考	
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			会場費支出			0		
			設営費支出	7,000	-7,000			
			運送費支出			0		
			レンタル料支出			0		
		小計		0	7,000	-7,000		
		企画演出費支出	人件費支出				0	
			食事代支出				0	
			企画費支出				0	
			演出費支出				0	
			旅費交通費支出				0	
		小計		0	0		0	
		本部関係費支出	人件費支出				0	
			食事代支出				0	
			会場費支出				0	
			設営費支出				0	
			旅費交通費支出				0	
			通信費支出				0	
			運送費支出				0	
			消耗品費支出				0	
			レンタル料支出				0	
			保険料支出				0	
			渉外費支出				0	
		小計		0	0		0	
		講師関係費支出	食事代支出				0	
			旅費交通費支出				0	
			宿泊費支出				0	
			保険料支出				0	
			諸謝金支出		150,000	-150,000		
			会合費支出			0		
			記念品代支出			0		
		小計		0	150,000			
		広報費支出	運営費支出				0	
			会場費支出				0	
			設営費支出				0	
			通信費支出				0	
			消耗品費支出				0	
			レンタル料支出				0	
			作成費支出				0	
			P R 費支出				0	
		小計		0	0		0	
		資料作成費支出	通信費支出				0	
			資料費支出				0	
			消耗品費支出				0	
			レンタル料支出				0	
		作成費支出				0		
小計		0	0		0			
報告書作成費支出	通信費支出				0			
	資料費支出				0			
	消耗品費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	作成費支出				0			
小計		0	0		0			
懇親会費支出	人件費支出				0			
	会場費支出				0			
	設営費支出				0			
	旅費交通費支出				0			
	運送費支出				0			
	レンタル料支出				0			
	保険料支出				0			
	飲食費支出				0			
	アトラクション費支出				0			
小計		0	0		0			
渉外費支出	役員渉外費支出				0			
	記念品代支出				0			
小計		0	0		0			
旅費交通費支出	旅費支出				0			
	交通費支出				0			
宿泊費支出					0			
小計		0	0		0			
参加記念品代支出					0			
保険料支出					0			
通信費支出					0			
販売物品仕入支出					0			
雑費支出					0			
事業予備費支出					3,000	-3,000		
支出合計				0	160,000	-10,000		

収支予算明細書(案)

事業名 10月例会行事 テーマ「Fathering＝父親であることを楽しもう」
 <収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	
事業費繰入収入	事業予備費繰入収入			100,000	
合 計				160,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	例会看板	7,000	(有)メディアアクション
	小 計			7,000	
	講師関係費支出	諸謝金支出	講師謝礼	150,000	FatheringJapan
	小 計			150,000	
	小 計			0	
	小 計			0	
	小 計			0	
	参加記念品代支出				
	保険料支出				
	通信費支出				
	販売物品仕入支出				
	雑費支出				
事業予備費支出				3,000	
合 計				160,000	

10月例会タイムスケジュール（案）

19：20	例会行事開始	
19：20～19：23	委員長趣旨説明	3分
19：23～20：35	講演	72分
20：35～20：45	質疑応答	10分
20：45～20：48	副理事長謝辞	3分
20：48～20：50	講師退場	2分
20：50	例会行事終了	

安藤 哲也(あんどう・てつや)



1962 年、東京・池袋生まれ。現在 48 歳。13 歳(女)、10 歳(男)、3 歳(男)の父親。

85 年、明治大学卒業後、出版社の有紀書房に入社。書店営業で全国の書店を歩く。

86 年、リットーミュージック入社。音楽雑誌・楽譜等の販売に従事。

88 年、UPU 入社。雑誌「エスクァイア日本版」「i-D JAPAN」の販売・宣伝担当。

94 年、書店員に鞍替え。大塚・田村書店の 3 代目店長に。

96 年、東京・千駄木の往来堂書店をプロデュース。初代店長を務める。

00 年、オンライン書店bk1へ移籍。02 年まで店長。

その後、糸井重里事務所を経て、03 年、NTT ドコモの電子書籍事業へ参画。

04 年、楽天ブックスの店長に就任。その後、クロスメディア事業に従事(07 年 10 月退社)。

06 年 11 月、会社員として仕事をする傍ら、父親の子育て支援・自立支援事業を展開する

NPO 法人ファザーリング・ジャパンを立ち上げ、代表に選出・就任。現在は専従。(株)絵本ナビ顧問も務める。

★理事を務める NPO 法人等

◎NPO 法人定年 GO!

◎NPO 法人キャリアレンジ

◎NPO 法人パパジャングル

◎NPO 法人えほんうた・あそびうた

◎NPO 法人 KiRALi

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

協議 事項

委員会名：尾道経済活性化委員会

委員長名：小林 輝久

(1) 議案名 地域経済発展をねらった「尾道プライド」育成の調査・研究・実践
事業計画 (案) について

(2) 事業名 『おのみち大てっぱん博2011』 東北物産ブースの運営

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

農林水産省の『食べて応援しよう!』プロジェクトを活用し東北の一次産業支援と尾道駅前に人出を創出し、尾道の経済活性化に寄与する。

b. (対内)

3月に支援物資を届けさせていただいた大船渡のサンコー食品の小濱氏が事業を再開された
とのこと、『秋さんま』を中心に東北の物産をてっぱんで調理し尾道の皆さんに味わって
いただき東北の物産を食べて応援しようではありませんか!

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年10月22日(土) 10時00分～17時00分

10月23日(日) 10時00分～16時00分

b. 場 所 尾道駅前緑地帯

c. 予算総額

d. 参加人員 内部 95名 外部 1名 計 96名

(内部内訳：正会員86名、仮入会員9名)

e. 動員計画

f. 外部協力者 サンコウショクヒン

g. 実施組織・推進リーダー 委員長 小林輝久

委 員 井上智仁

h. 実施手順・プログラム	2011年	8月29日(月)	第9回正副理事長会議	協議
		9月 6日(火)	第9回理事会	協議
		9月■■日(■)	第10回正副理事長会議	審議
		10月 6日(木)	第10回理事会	審議
		10月 7日(金)	案内文書	発信
		10月22日(土)		実施
		10月23日(日)		実施

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

朝の連続ドラマ『てっぱん』の放送も終了し、てっぱん効果での尾道への集客が薄れていくなか
コンセプトをチェンジし、「おのみち大てっぱん博 ‘11」で出来る東北支援を行っていきたく
考えております。 また、サンコー食品の小濱氏と一緒に東北の海産物を鉄板で焼いて提供し
尾道消費者が東北の海産物を口にして喜んでいる姿を見て頂きたいと考えております。

(6) 協議のポイント
内容について

(7) 会議での意見とその対応
意見)
対応)

(8) 他委員会への依頼事項等
出来るだけ当委員会にて行いますが、時間の許す方はお手伝いをお願いします。

(9) 添付資料
『おのみち大てっぱん博2011』概要（参考資料）
東北物産ブースについて（参考資料）

理事会 2011年 9月 6日

第24回グルメ・海の印象派－おのみち－実行委員会
打 合 せ 会 議 次 第

日 時 平成23年 6月23日(木) 14時00分～15時00分

場 所 尾道商工会議所 3階 301号室

挨 拶 鍛冶川実行委員長より

議 題

1. 「おのみち大てっぱん博 '11」について

①「食べて応援しよう！」概要について . . . 資料①

②「おのみち大てっぱん博 '11」収支予算(案)について . . . 資料②

③「おのみち大てっぱん博 '11」参加のご案内について . . . 資料③

④「おのみち大てっぱん博 '11」開催に係る組織図(案)について . . . 資料④

2. そ の 他



～被災地・周辺地域の食品消費の推進に向けた取り組み～

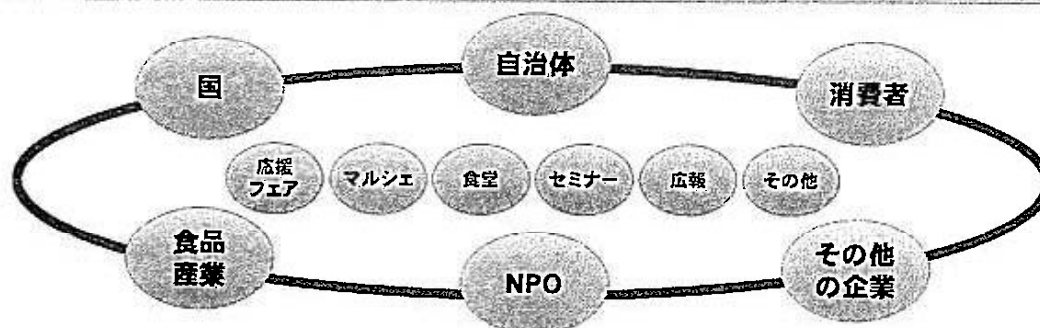
総合食料局流通課

農林水産省

1. 「食べて応援しよう!」ってどんな取り組み?

食べて応援しよう!

- 被災地及びその周辺地域で生産・製造されている農林水産物等、加工食品(「被災地産食品」)を積極的に消費することで被災地の復興を応援するため
- 国、地方公共団体、NPO、企業などの多様な関係者間で共通のキャッチフレーズ「食べて応援しよう!」を使って一体感を醸成する取り組み
- 既に民間企業や地方自治体で取り組んでいる企画との相乗効果の発揮を重視



共通のキャッチフレーズは「**食べて応援しよう!**」

～国民全体で被災地を応援する関係を構築～

2. 被災地応援フェアなどの取り組みは各地で展開

食べて応援しよう!

- 農林水産物や食品の消費を通じて被災地を支援しよう、という取り組みが共感を得る
- 食品流通関係企業や卸売市場など食品関係者だけでなく、地方自治体やNPO法人が主催する取り組み事例も増加
- 首都圏をはじめ各地で特に応援フェアを数多く実施されている



各地での取り組みに対して
共通の「食べて応援しよう!」と
いうキャッチフレーズを使用し、
政府・企業・団体・消費者が
一体感を持って被災地の復興を
応援する活動を推進

**食べて
応援しよう!**
被災地を応援

食べて応援しよう!
被災地を応援

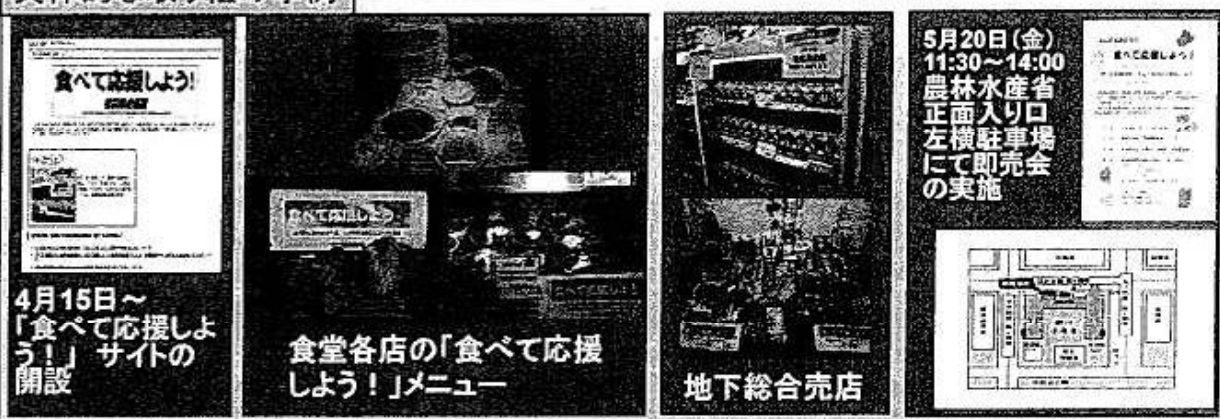
2

3. 「食べて応援しよう!」農林水産省の取り組み

食べて応援しよう!

- 農林水産省のHP上にて各イベントの取り組み事例を紹介
- 農林水産省内食堂で被災地産野菜を使用したメニューの提供
- 農林水産省内総合売店にて被災地産の加工食品の販売
- 農林水産省入口にて被災地産野菜の即売会の開催

具体的な取り組み事例



3

4. 政府による被災地の応援の取り組み・他省庁・「フード・アクション・ニッポン」との連携

食べて応援しよう!

- 政府として日本全国の消費者の様々な行動を被災地の応援につなげることを目的に、民間の団体や民間企業が中心となって展開する活動の後押しとして「復興アクション」キャンペーンを推進
- 「食べて応援しよう!」の取組について消費者庁担当大臣との共同メッセージを発信
- 農林水産省で取り組んでいる「フード・アクション・ニッポン」についても「食べて応援しよう!」と連携を図り、推進パートナーと共に被災地産食品の積極的な消費を図る

政府広報

復興アクションキャンペーン

①市場に流通する農産物等への冷静な対応

②通常の経済活動を行うことが被災地の復興につながることへの理解促進

③夏場に向けて、各家庭での一層の節電意識の向上



消費者庁

消費者庁の支援

東日本大震災の被災地及びその周辺地域で生産・製造されている農林水産物、加工食品（以下「被災地産食品」という。）を積極的に購入して「食べて応援しよう!」に取り組む消費者団体等を、意見交換会を通じた情報提供やイベントの共催などにより積極的に支援します。



FOOD ACTION NIPPON

被災被災地を応援する取組は、農林水産省が進める食料自給率向上国民運動「フード・アクション・ニッポン」の目標達成に資するものであることから、フード・アクション・ニッポンの推進パートナー5,524社（5月13日現在）とのネットワークを通じ、「食べて応援しよう!」の更なる浸透を図ってまいります。



4

4. 政府による被災地の応援の取り組み・他省庁・「フード・アクション・ニッポン」との連携

食べて応援しよう!

政府としての取組

「復興アクション」

民間団体や民間企業が中心となって展開する活動を政府が後押し（政府全体として取組）

【訴求ポイント】

市場に流通する農産物等への冷静な対応（風評被害や買いだめ防止）

通常の経済活動を行うことが被災地の復興につながることへの理解促進

夏場に向けて、各家庭での一層の節電意識の向上

「食べて応援しよう!」

被災地及びその周辺で生産された農林水産物等を積極的に消費することで被災地を応援（フード・アクション・ニッポンとも連携）

農林水産物等の風評被害防止（消費者庁とも連携）

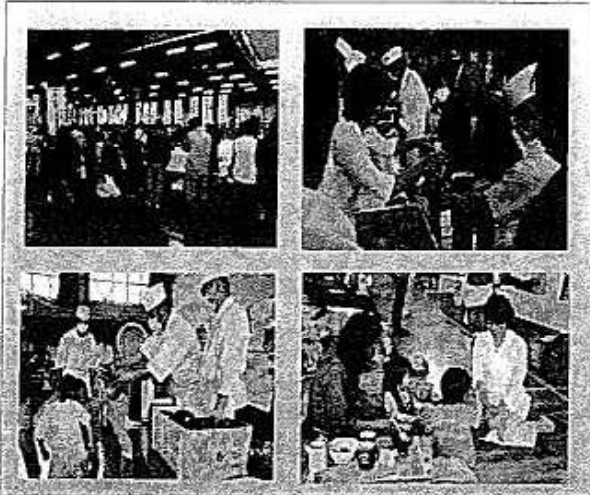
5

5. 「食べて応援しよう！」具体的取り組み例(1)

食べて応援しよう!

「東日本大震災支援活動」

「超人シェフ倶楽部」の一流料理人が、原発問題により避難を余儀なくされた被災者が多く避難している福島県会津若松避難所において、地元食材を買上げて郷土料理等の炊出し料理を提供し、あわせて、風評被害をなくすための福島県食材の安全・安心性のPRを行いました。



実施日

5月8日(日曜日)

場所

福島県「ふれあい体育館」

住所: 福島県会津若松市一箕町大字八幡字八幡2番地の1

くつろぎ宿

住所: 福島県会津若松市東山町湯本
寺屋敷 43

実施主体

社団法人 米穀安定供給確保支援機構

一般社団法人 超人シェフ倶楽部

(協力: 小田急ホテル)

共通のキャッチフレーズは「食べて応援しよう!」

6

5. 「食べて応援しよう！」具体的取り組み例(2)

食べて応援しよう!

「とうほく★希望マルシェ」

被災した方々への復興支援として、東北地方の農産物を販売する「マルシェ」を開催し、販売により生じた利益は被災者方々への支援に活用しました。



実施日時

4月28日(木曜日) 12時00分

場所

千葉QVCマリンフィールド
(千葉県千葉市美浜区)

実施主体

有限会社まきの

有限会社地域システム創造研究所

銀座イニシアティブオフィス

共通のキャッチフレーズは「食べて応援しよう!」

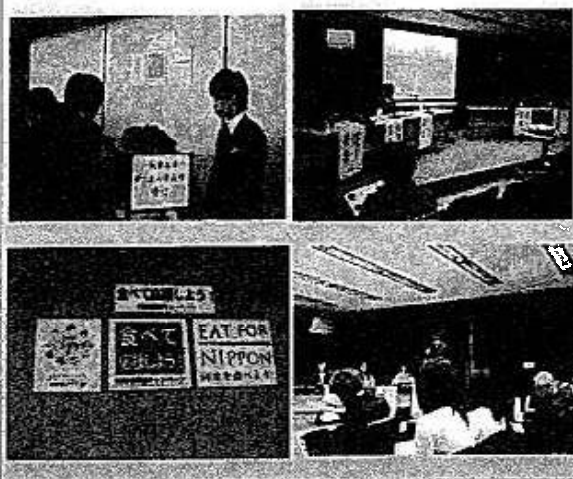
7

5. 「食べて応援しよう！」具体的取り組み例(3)

食べて応援しよう!
食の安全と安心

「放射性物質とその野菜への影響」

「日本の農業を支援する」ことを目的のひとつに掲げている特定非営利活動法人青果物健康推進協会では、風評被害などを予防し、国内農業を応援するためにセミナーを開催しました。



実施日時

4月24日(日曜日) 14時00分～16時30分

場所

東京国際フォーラム/Gブロック402会議室
(東京都千代田区丸の内3-5-1)

実施主体

特定非営利活動法人青果物健康推進協会

共通のキャッチフレーズは「食べて応援しよう！」

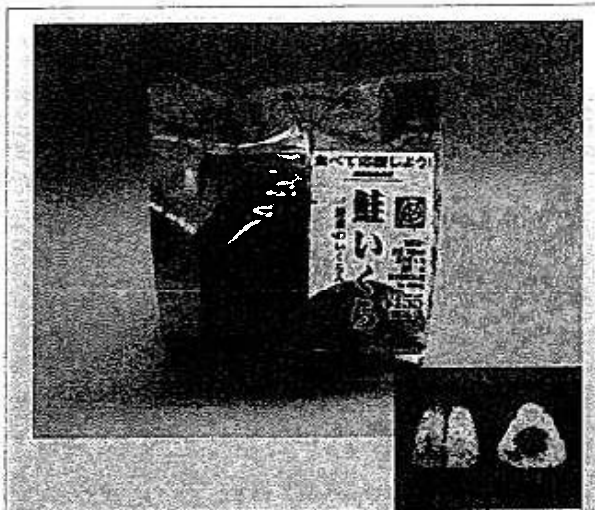
8

5. 「食べて応援しよう！」具体的取り組み例(4)

食べて応援しよう!
食の安全と安心

「食べて応援しよう！」

東北地方の特産品をおむすびで使用し、全国で発売することにより「食」を通じて被災地を応援する。パッケージ刷り込みデザインでの展開。



実施日時

5月17日(火曜日)～発売
おむすび鮭いくら (売価155円)
※三陸産のいくらを使用しています

場所

デイリーヤマザキ各店舗

実施主体

株式会社デイリーヤマザキ

共通のキャッチフレーズは「食べて応援しよう！」

9

6. 参加するにはどうしたらいいの？

食べて応援しよう!
被災地を応援

例えば・・・

- 自治体、NPO、企業などの食堂等で被災地産食品を積極的に利用する際に
- 被災地及びその周辺地域の生産者や事業者の皆様が、被災地産食品の消費拡大対策を行う際に
- 食品小売業・外食産業等の皆様が、被災地産食品フェア等を行う際に
- 自治体、消費者団体、食品事業者等の皆様が、セミナーやシンポジウム等を行う際に

共通のキャッチフレーズ **「食べて応援しよう！」** を使って下さい！

10

7. キャッチフレーズの利用イメージ

食べて応援しよう!
被災地を応援

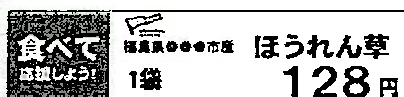
食べて応援しよう!

食べて
応援しよう!

これらはロゴではないので、
色・フォント・大きさ等は
自由に変更して利用できます

※利用される場合は
事前に農林水産省にご連絡下さい
(メール等でデータをお送りします)

こんな感じで加工したり



このように使ってもOKです



農林水産省



※「復興アクション」ロゴ・・・政府として全国の消費者の行動を被災地の応援につなげようとする取組です。「食べて応援しよう！」をデザインとして表示される場合は、「復興アクション」のロゴを入れて頂くようお願いいたします。

※「農林水産省」ロゴ有り・・・農林水産省が共催する場合等にお使いいただくことが可能です。

※「フードアクションニッポン」推進パートナーにご登録いただいている方は、推進パートナーロゴマーク入りのイメージをご利用いただけます。

11

8. イベント等の情報をお寄せ下さい

食べて応援しよう!
M-2014-0208

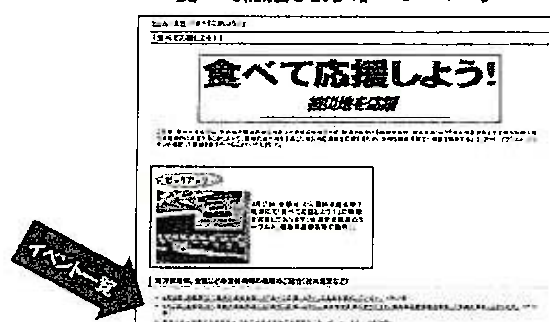
農林水産省TOPページ



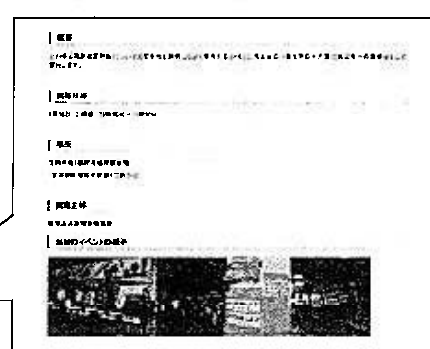
「食べて応援しよう！」
の取組の輪を広げていくため、
皆さまの今後の予定や
取組結果等の情報をお寄せ下さい。

農林水産省の「食べて応援しよう！」HPで
積極的に情報発信します

「食べて応援しよう！」TOPページ



個々のイベント情報のページ



12

お問い合わせ先

農林水産省 総合食料局流通課

TEL:03-3502-5741、7672

FAX:03-3502-5336

食べて応援しよう！

検索

<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/eat/>



13

**グルメ・海の印象派－おのみち－
食べて応援しよう！
「おのみち大てっぱん博'11」参加のご案内**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本年も尾道を中心に食文化のイベント『第24回グルメ・海の印象派－おのみち－』、『おのみち大てっぱん博』を開催計画しております。

今回、グルメ実行委員会として、去る3月11日に発生した、『東日本大震災』の被災支援として、イベント当日は義援金を集めたいと考えており、募金箱の設置の他、出店者の皆様にも、ご負担願いたく存じます。

つきましては、下記の通り出店者を募集いたしますので、奮ってお申し込み頂きますようよろしくお願い致します。

尚、今回出店をご検討の皆様に於かれましては、当会主旨及び今回の開催主旨を十分にご理解いただき、ご出店いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時・時 間 平成23年10月22日(土) 10:00～17:00
10月23日(日) 10:00～16:00
※1日のみの出店はお受けできません。

2. 場 所 尾道駅前緑地帯（尾道市東御所町）

3. 出 店 対 象 グルメ実行委員会 構成団体の会員（その他当会の認める者）
尾道商工会議所 尾道しまなみ商工会 尾道観光協会
尾道飲食組合 尾道調理師会 広島県中部菓子協同組合
広島県喫茶飲食生活衛生同業組合 尾道観光土産品協会

注意；てっぱん屋台コーナーへの出店は、営業許可を有している事業所に限ります。

4. イベント内容 ①てっぱん屋台コーナー
「てっぱんを使用した料理の提供」
②尾道物産販売コーナー
「瀬戸内海の海産物や特産物・加工品など」

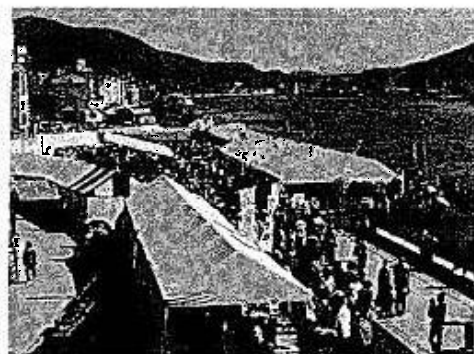
5. 出 店 料 1テント40,000円
・てっぱん屋台コーナーは、テント1/2単位 @20,000円
・尾道物産コーナーは、テント1/3単位 @13,000円

6. 申込締め切り 平成23年 8月19日(金)

7. 提供スペース テント1/2単位。（※物産は1/3単位）
（屋台；テント1/2に対して、テーブル2本、イス1本は準備します。）
（物産；テント1/3に対して、テーブル2本、イス1本は準備します。）

※飲食店を出店される方は、必ず自店ブースの一番下にブルーシートを敷き、その上にダンボール等を置き、油の流出及び、食品の散らかり防止、芝生の保護に努めて頂きます。

8. 環境対策 ゴミ分別ステーションを会場内に2カ所設置致します。
「てっぱん屋台コーナー」は全店エコトレーのみ使用可能とします。
※エコトレーの発注につきましては、参加店が決まった後に通知致します。
9. 出店準備 出品物の搬入他、必要に応じて各自でご準備願います。
(※搬入時間、順番等の詳細は追ってご連絡致します)
10. 商品保管 平成23年10月21日(金)及び22日(土)の夜間は警備員を配備します。但し、事業者の商品保管につきましては、各自で管理して頂きますようお願いいたします。
出品物の保護については、出品者が責任を負うものとし、当会は盗難、紛失、火災、損傷、その他会場内で発生した事故等に対して出品者の損害を賠償しません。
11. 出品内容 販売・出品内容が重複する場合は当委員会にて調整をさせて頂く場合があります。
12. 終了後の搬出 基本的には10月23日(日)の終了後、16時30分から19時までの間に搬出をお願いいたします。
※搬出順番は、当日当会事務局より指示をさせて頂きます。
13. 事業ゴミ 当会は、分別ステーションを設置し、来場客から出るゴミに関しては回収いたしますが、事業ゴミは回収できません。
出店者は、自己責任に於いて自店のゴミをお持ち帰りください。
14. 主 催 グルメ・海の印象派ーおのみちー実行委員会
15. 共 催 尾道青年会議所・尾道飲食組合・尾道市商店街連合会
16. 協 力 尾道市交通安全協会・尾道海上保安部(未定)
17. 注 意 事 項 当会主旨に反する行為等がありましたら、主催者判断により即座に出店中止とし、また、本出店に於いて芝生及び貸与品等に損害が生じた場合には、出店者の責任を持って現状復旧もしくは、相応の負担をしていただく事とします。
18. 屋台コーナー出店のお申し込み
- 尾道飲食組合
〒722-0035 尾道市土堂1丁目15-22
T E L (0848) 22-3683 F A X (0848) 23-9617
19. 物産コーナー及び行事に関するお問い合わせ
- グルメ・海の印象派ーおのみちー実行委員会 事務局
〒722-0035 尾道市土堂2丁目10-3(尾道商工会議所内)
T E L (0848) 22-2165 F A X (0848) 25-2450
20. 備考 平成22年度実施内容
おのみち大「てっぱん」博
日時；平成22年10月17日(日)
9：00～17：00
人出；約50,000人(主催者発表)
写真；午前11時(開催1時間後)
時点の風景→



『おのみち大てっぱん博 ‘11』

てっぱん屋台コーナー申込書

事業所名・団体名	
代 表 者	
営 業 許 可 番 号	
所 在 地	〒 ー
電 話 番 号	
連絡の付きやすい 電話番号	(携帯電話 等) (連絡希望時間帯 時 分～ 時 分)
F A X	
担 当 者 氏 名	
取 扱 商 品 (全て記入)	メインメニュー (てっぱん関連に限る)
	サイドメニュー
必要テント ○印をしてください	屋台コーナー； テント1/2 ・ 1張
備 考 ※希望等ありましたらご記入ください。	

上記にご記入の上、8月19日(金)までに申込ください。(尾道飲食組合)
 上記にご記入頂いたデータはグルメイベントの実施以外では使用しません。

今回の出店申込みに際し要綱を読み、記載事項に同意して申込みます。

平成23年 月 日

会社名・団体名等

代表者氏名



『おのみち大てっぱん博 ‘11』

尾道物産コーナー出店申込書

事業所名・団体名	
代 表 者	
所 在 地	〒 -
電 話 番 号	
連絡の付きやすい 電話番号	(携帯電話 等) (連絡希望時間帯 時 分～ 時 分)
F A X	
担 当 者 氏 名	
取 扱 い 商 品 (全て記入)	
必要テント ○印をしてください	テント 1 / 3 ・ 2 / 3 ・ 1 張
備 考 ※希望等ありまし たらご記入くだ さい。	

上記にご記入の上、8月19日(金)までに申込ください。(グルメ実行委員会)
上記にご記入頂いたデータはグルメイベントの実施以外では使用しません。

今回の出店申込みに際し要綱を読み、記載事項に同意して申込みます。

平成23年 月 日

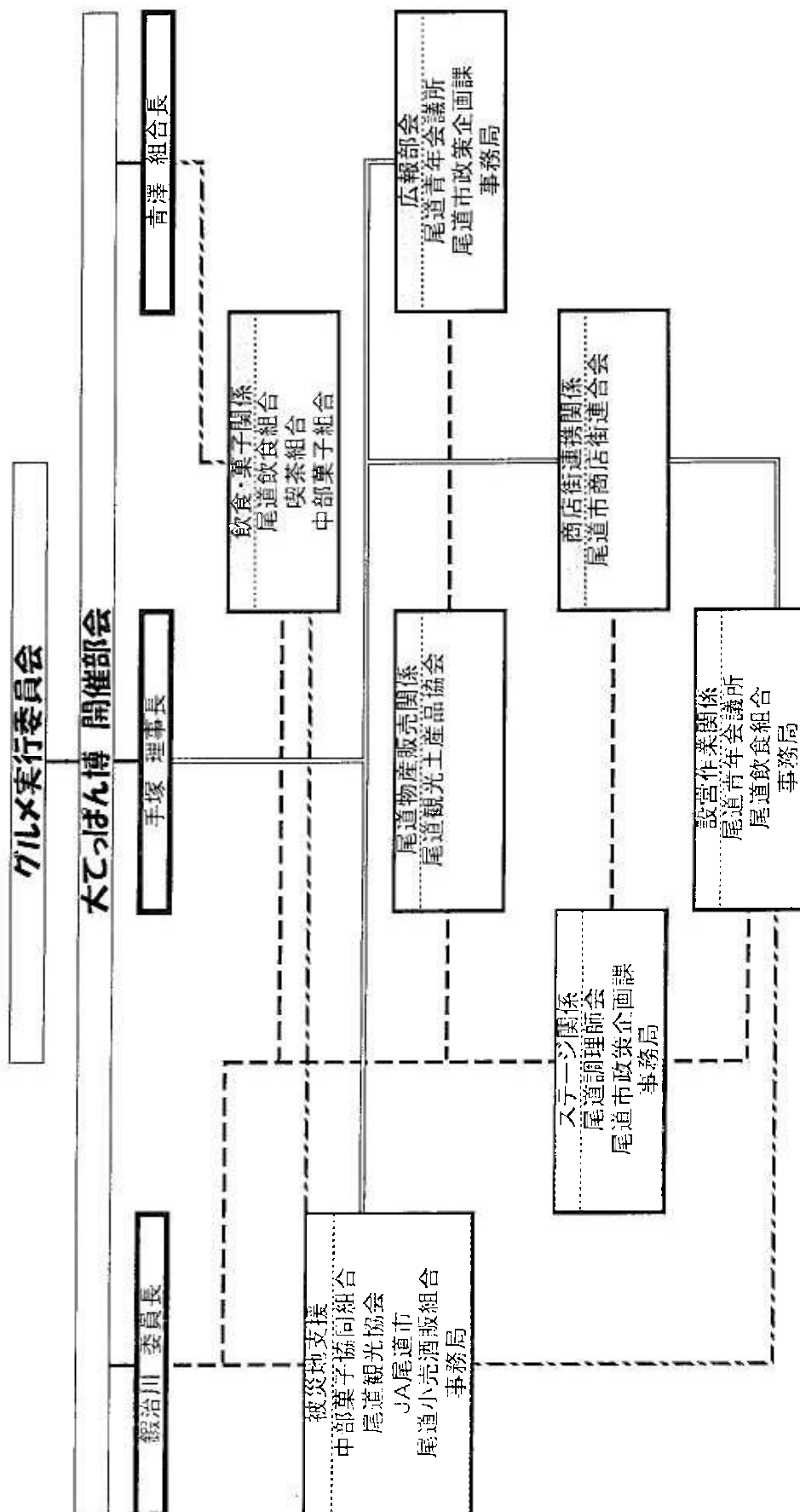
会社名・団体名等

代表者氏名



第24回グルメ・海の印象派 - おのみち -
おのみち大「てっぱん」博 '11 開催に係る組織図(案)

資料No.4



「おのみち大てっぱん博'11」収支予算(案)

参考; 昨年度「てっぱん博」収支決算書 及び 2日間開催用必要見積書

収入の部

科 目	金 額
出店料30テント×40,000円	1,200,000
グルメ線入金(イベント経費として)	250,000
グルメ線入金(環境整備等)	100,000
合 計	1,550,000

支出の部

科 目	金 額	比 率
設営関係(見積通りにより)	736,285	47.5%
音響関係(見積通りにより)	217,560	14.0%
人件費(警備員)(15,000×2人×2日間)	60,000	3.9%
人件費(尾道FM司会)(30,000×2日間)	60,000	3.9%
立て看板4カ所(4,000×4)	16,000	1.0%
大型バス駐車場(昨年3,600×2日間)	7,200	0.5%
環境整備費(分別ステーション他)	200,000	12.9%
出店者看板	30,000	1.9%
上下水使用料	20,000	1.3%
大テント借用運搬料	10,000	0.6%
予備費	192,955	12.4%
		0.0%
合 計	1,550,000	100.0%

尾道市立美術館秋季特別展「かわぐちかいじ展-マンガ表現とその現場-」
開催にかかる賑わい創出について

【展覧会概要】

- 展覧会名 : 「かわぐちかいじ展 -マンガ表現とその現場-」
会 場 : 尾道市立美術館
会 期 : 平成23年10月1日(土)～11月27日(日) [51日間]
休 館 日 : 月曜日 [10/10(祝日)を除く]
開館時間 : 午前9時～午後5時 [ただし、入館は午後4時30分まで]
観 覧 料 : 大人／700円、高大生／500円、中学生以下無料
[前売は各100円引、団体(20名以上)は各50円引]
■70歳以上、身障者は、証明できるものを提示により無料
主 催 : 尾道市立美術館、中国新聞備後本社(予定)
共 催 : 講談社(予定)、小学館(予定)
後 援 : 広島県(予定)、尾道エフエム放送(予定)、尾道ケーブルテレビ(予定)

【関連した催しなど】

美術館実施

○ 展覧会の開催

◇ 美術館

- ・ 展覧会を開催する。
- ・ 関連した講演会や鑑賞会の開催

○ 広報活動など

◇ 美術館

- ・ 展覧会のポスター、チラシ、図録などを制作し、美術関係機関、市内各所などに配布。

◇ 中国新聞備後本社

- ・ 紙面広告、展覧会解説記事の掲載など。

◇ 講談社・小学館

- ・ 連載誌での誌面広告の掲載など。

○ 記念講演会及び市街地との連携など

◇ 記念講演会

- ・ かわぐちかいじ氏と川口協治氏(実弟)による対談。
- ・ パネルディスカッション

◇ 商店街バナー設置

- ・ かわぐちかいじ氏の作品を掲載したバナーを設置し、展覧会を盛り上げる。

(社)尾道青年会議所 事業計画(案) 予算(案)

協議 事項

委員会名：P E A C Eおのみち委員会

委員長名：片岡 彰一郎

(1) 議案名 尾道の持つ遊休資源を利用したまちづくり事業 事業計画(案) 予算(案)について

(2) 事業名 尾道の観光案内冊子作成「ぶらっと尾道」

(3) 事業目的(趣旨)

- a. (対外) 尾道は、古くは飛鳥時代から栄えていたと伝えられ、瀬戸内海を中心地として発展してきた歴史があります。1000年以上の歴史の中で、失われたことや忘れられていることが多くあります。それらにスポットを当てて、失われた文化遺産の復興に取り組むNPO法人や我々青年会議所の活動を紹介する冊子を作成いたします。また、茶園文化や艮神社の八角神輿などまだまだ知られていない文化遺産も多くあり、それらを冊子に盛り込み、市民や観光客に尾道の歴史に興味を持って頂くと同時に、尾道に誇りを持って頂けるような内容にいたします。
- b. (対内) (社)尾道青年会議所も来年で創立55周年を迎えます。先輩方の力によって、三体神輿の復活や桜の植樹など、尾道のまちづくりに大きく貢献してきたと思います。我々も引き続き、尾道のまちづくりに貢献していくためには、もっと深く尾道の歴史を学ぶ必要があると考えます。青年経済人として、経済的な視点から尾道の歴史を考え、それらを冊子にまとめて、今後の活動の一助となるようなものを作成いたします。

(4) 事業内容

- a. 実施日時 2011年 11月11日(金)
- b. 場 所 市内各所(配布先は別紙記載)
- c. 予算総額 ￥445,000
- d. 参加人員 冊子作成 内部 10名 外部 3名 計 13名
刊行PR事業 内部 95名 外部 50名 計 145名
- e. 動員計画 プレスリリース、広報おのみち、各報道機関など。
- f. 外部協力者 林良司氏、豊田雅子氏、荒木正見氏、麻生祐雄氏、河本清順氏、永井大貴氏、
尾道大学、浄土寺
- g. 実施組織・推進リーダー 委員 今川 智弘
- h. 実施手順・プログラム
2011年 8月25日 第9回正副理事長会議 協議
2011年 9月 6日 第9回理事会 協議
2011年 9月26日 第10回正副理事長会議 審議
2011年10月 6日 第10回理事会 審議
2011年11月13日 冊子完成・配布
2011年11月13日 刊行PR事業(まち歩き)

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

この冊子は、一般的な観光案内の冊子ではなくて、市内で活動している NPO 法人や青年会議所の取組がどのように歴史と結びついているかを紹介しつつ、一般の観光案内には載っていない隠れた名所にスポットをあてた冊子です。尾道学研究会の林様、空き家再生の豊田様、シネマ尾道の河本様や元文教学院大学教授の荒木様などの協力を得て作成いたします。

配布先に関しては、広く市民といっても歴史や尾道に興味がある人を中心に配布したいと考えます。配布先は別紙に記載しておりますが、図書館や市役所、尾道に興味を持って訪れてくださる観光客が集まる場所に配布いたします。また、市役所、商工会議所、観光協会などと協議を行い、初版発行後に原稿を無償で配布し今後の重版に関しては、それぞれの機関で独自に発行して頂くようにお願いします。そうすることで、より多くの方に見て頂ける機会が広がると思います。

冊子の刊行を記念して、11月13日に市民、20組50名程度を募集し、冊子で紹介している部分を中心に市内を散策いたします。募集できる人数は限られますが、一人でも多くの方に知って頂く機会を設けたいと思います。募集に関してはポスターなど作成せず、尾道市の広報、山陽日日新聞、ケーブルテレビ、プレスリリース、JC ホームページ、メンバーのロコミなどで行います。

(6) 協議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

(8) 他委員会への依頼事項等

11月13日の事業実施日には、ぜひ参加して頂き、尾道の歴史と現在のつながりを学んでください。

(9) 添付資料

事業収支予算書 (案)

収支予算明細書 (案)

冊子全体構成 (案)

散策ルート (案)

冊子配布先一覧 (案)

理事会 2011年 9月 6日

事業収支予算書(案)

事業名 尾道観光案内冊子作成「ぶらっと尾道」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	-300,000	
	事業費繰入収入	事業費繰入収入				0	
	登録料収入	登録料収入			145,000	-145,000	
	懇親会収入	懇親会収入				0	
	販売収入	販売収入				0	
	広告料収入	広告料収入				0	
	負担金収入	負担金収入				0	
補助金等収入	雑収入	雑収入				0	
	国庫補助金収入	国庫補助金収入				0	
	地方公共団体補助金収入	地方公共団体補助金収入				0	
	民間補助金収入	民間補助金収入				0	
	国庫助成金収入	国庫助成金収入				0	
	地方公共団体助成金収入	地方公共団体助成金収入				0	
	民間助成金収入	民間助成金収入				0	
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入				0	
	募金収入	募金収入				0	
収入合計				0	445,000	-445,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出	7,400	-7,400		
		小計		0	7,400	-7,400	
		企画演出費支出	人件費支出		33,333	-33,333	
			食事代支出		137,750	-137,750	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計		0	171,083	-171,083	
		本部団体関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
		渉外費支出			0		
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
		小計				0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
			P R 費支出			0	
		小計		0	0	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		作成費支出		257,250	-257,250		
		小計		0	257,250	-257,250	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
レンタル料支出				0			
作成費支出				0			
小計		0	0	0			
懇親会費支出	人件費支出			0			
	会場費支出			0			
	設営費支出			0			
	旅費交通費支出			0			
	運送費支出			0			
	レンタル料支出			0			
	保険料支出			0			
	飲食費支出			0			
アトラクション費支出			0				
小計		0	0	0			
渉外費支出	役員渉外費支出			0			
	記念品代支出			0			
小計		0	0	0			
旅費交通費支出	旅費支出			0			
	交通費支出			0			
	宿泊費支出			0			
小計		0	0	0			
参加記念品代支出	参加記念品代支出			0			
	保険料支出		2,960	-2,960			
	通信費支出			0			
	販売物品仕入支出			0			
雑費支出				0			
事業予備費支出			6,307	-6,307			
支出合計			0	445,000	-445,000		

収支予算明細書(案)

事業名 尾道観光案内冊子作成「ぶらっと尾道」
 <収入明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	
	登録料収入		1000円×145名	145,000	
合 計				445,000	

<支出明細書>

中 科 目	小 科 目	細 目	摘 要	予算額	備考
事業費支出	資料作成費支出	作成費支出	ぶらっと尾道冊子	257,250	(有)メディアジャンクション
	小 計			257,250	
	企画演出費支出	人件費支出	資料作成協力・ガイド	33,333	林良司氏
		食事代支出	散策参加者(950円×145)	137,750	やすもと
	小 計			171,083	
	会場設営費支出	レンタル料支出	電気メガホンホルダー	7,400	R&Rレンタル尾道
	小 計			7,400	
	小 計			0	
	小 計			0	
	参加記念品代支出				
	保 険 料 支 出		賠償責任保険	2,960	(有)保険オフィスまいんど
	通 信 費 支 出				
	販売物品仕入支出				
	雑 費 支 出				
事業予備費支出				6,307	
合 計				445,000	

あなたの知らない尾道へようこそ！

冊子作成改訂版 （タイトル候補…尾道通、尾道通の道、尾道ほつつき…）

全 体 構 成

□ 表 紙 ※表紙、裏表紙は頁数にカウントしない

□ はじめに（手塚淳三理事長） 【1 頁】

□ 目 次 【2 頁】

□ 尾道今昔（尾道の歴史概略） 【3 頁】

□ ポイント・マップ 【4～5 頁（見開き 2 頁）】

I 尾道文化復古編 ※扉頁 6 頁目

其の一 映画館のまち・尾道（スポット解説・河本清順） 7～10 頁（4 頁）

映画のまち尾道は、映画館のまちでもあった。中心市街地に点在した映画館を古地図からピックアップすると共に、黄金期当時のエピソード（駅前松竹関係者のおだ画廊主人など）などを交えながら、映画館のまち尾道を掘り起こす。そして、その文化を守り伝えたいと頑張るシネマ尾道・河本さんにスポット。

【写真①】シネマ尾道と駅前松竹の新旧写真

【写真②】昭和 30 年代の旧市街古地図から映画館抜粋

【写真③】山陽日日新聞に掲載された往時の映画案内広告

其の二 西山手の文化住宅（スポット解説・豊田雅子） 11～14 頁（4 頁）

西山手に形成された文化住宅、洋館建築群の歴史と、今も遺る建物をピックアップ。空き家再生の取組みで甦ったその一例として津留邸を紹介。

【写真①】西山手境界の新旧対比（絵葉書古写真と現在の風景対比）

【写真②】西山手の文化住宅街・洋館建築の一例（金尾邸、弓場邸など）

【写真③】空き家再生物件・津留邸

其の三 三体みこし再生と創造（手塚弘三氏による復活回想録） 15～18 頁（4 頁）

三体みこしの復活を提唱した J C O B の手塚弘三氏に、復活に至るまでの経過と当時のエピソードをインタビュー形式に収録。それから三十数年、常称寺とのコラボレーションな

ど、「原点回帰」を旗印とした新たな祭りの創造を紹介。

【写真①】 三体みこし廻しの新旧写真

【写真②】 三体みこし解体新書（細部の意匠を見てみましょう）

【写真③】 常称寺里帰り

Ⅱ 尾道歴史発掘編 ※扉頁 19頁

其の四 住友銀行尾道に発祥す 20～21頁（2頁）

【写真】 住友銀行新旧写真（戦前の絵葉書からと現在）

其の五 住吉神社今昔 22～23頁（2頁）

【写真①】 住吉神社南向き時代の古写真

【写真②】 西向きの現在

【写真③】 明治期の絵図より

其の六 八角大神輿と八角井戸（スポット解説・永井大貴） 24～25頁（2頁）

【写真①】 良神社全景

【写真②】 八角大神輿

【写真③】 八角井戸の現在

【写真④】 江戸期の絵図に見る八角井戸（安永の絵屏風）

其の七 茶園文化をゆく～長江山城戸にあった挹翠園～ 26～27頁（2頁）

尾道独特の茶園文化（別荘・庭園）を、発掘調査が進む長江山城戸の挹翠園を一例として紹介。

【写真①】 挹翠園跡の滝跡（導水遺構）

【写真②】 発掘調査中の窯跡

【写真③】 出土品

其の八 らいぎ坂・でんぎ坂～レンガ坂の本当の名前～ 28頁

【写真】 現在のレンガ坂（下から見上げる位置で撮影）

其の九 西國寺に見る尊氏の遺品（スポット解説・麻生さん） 29～30頁（2頁）

【写真①】 西國寺全景

【写真②】 尊氏ゆかりの宝物

其の十 尾道の高級ミネラルウォーター？ 31～32頁（2頁）

【写真①】現在の延命水

【写真②】大正初年の古地図から玉谷清水舎

其の十一 幻の平山神社（浄土寺東傍に予定され頓挫した神社跡） 33頁

【写真①】平山角左衛門像（絵葉書から）

【写真②】玉垣だけが遺る予定地

其の十二 浄土寺、今一つの紋章 34～35頁（2頁）

【写真①】浄土寺全景

【写真②】紋章二つ（足利紋・橘紋）

Ⅲ 総括編 ※総括編は扉なし 36～37頁（2頁）

経済的目線で語る尾道今昔 … 荒木正見（元・文京学院大学教授、尾道学研究会顧問）

□ おわりに（尾道通ネタはまだまだ発見出来ます…林締め） 【38頁】

□ 奥付（制作者・協力者一覧、発行元・印刷） 【39頁】

□ 裏表紙

あなたの知らない尾道へようこそ！

「ぶらっと尾道」

ルート

1、駅前緑地に集合 （8：30）

理事長挨拶、林さん紹介、委員長趣旨説明、冊子配布

2、シネマ尾道へ移動しスタート （8：40）

河本さんの協力を得て、尾道と映画館や映画との関わりについて説明。

ロケ場所の写真パネル準備や昔の映画館がのっている地図などを準備

3、西山手の文化住宅 （9：10）

空き家再生の豊田さんの協力を得て、西山手の洋風建築が多いことなどやその歴史背景、そして現在空き家が多く、それらを再生に取り組んでいることなどを説明。

4、尾道商議所 （9：45）

住友財閥が当時、住友会議を尾道で開き、銀行業を営むことを決定したことから、尾道に住友銀行の支店が残っている。このような、商都として栄えて発展してきた歴史やエピソードを調べて発表する。

5、住吉神社 （10：20）

住吉神社は現在、東向きに立っていますが、それが昔は海に向かって建っていたそうです。その名残がまだ境内にあるそうで、それを見て頂きます。

6、艮神社 （10：50）

永井さんの協力を得て、八角神輿の歴史や八角の井戸などを見学。

7、挹翠園 （11：20）

尾道には、別荘が多くあったそうです。その別荘を茶園と呼んでいたそうで、その昔の建物が長江口に残っているそうです。それを見て頂きます。

8、休憩（西国寺境内 12：30～13：15）

9、西国寺（13：15）

西国寺には、多くの文化財が残っています。足利尊氏のゆかりの品などもあります。足利といえば浄土寺ですが、なぜ西国寺に残っているかの歴史や、境内にある賀茂神

社の歴史など、麻生さんの協力を頂き、発表していきます。

10、 浄土寺（14：15）

現在浄土寺では、平成の大修理が行われています。それを見学させていただきます。

11、15：00 終了 解散

冊子配布先一覧

配布先	部数
青年会議所メンバー・OB	400
市役所(図書館・向島含む)	300
商工会議所	200
観光協会	200
尾道駅	100
シネマ尾道	100
空き家再生プロジェクト	100
尾道学研究会	100
尾道大学	50
西国寺	100
浄土寺	100
尾道商議所記念館	100
良神社	100
予備	50
合計	2000